

FUNAI

まるごと録画ハードディスク

取扱説明書

詳細版



保証書は付属の **簡易版取扱説明書** についています。「お買い上げ日、販売店名、製造番号」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

はじめに	2
接続とかんたん一括設定	15
まるごと録画機能で録画・再生・保存する	31
おすすめ再生機能で再生する	49
各種設定	60
さまざまな情報	69

2 本機の特長について

本機は「まるごと録画」の専用機です。
番組単位ではなく、お好みの複数のチャンネルを「まるごと」録画できます。くわしくは以下をご覧ください。



まるごと録画

設定する画質や時間、チャンネル数に応じて、1日最大23時間・6チャンネルの番組を同時に自動で録画します。番組ごとの録画予約が不要で、録り逃がしの心配もありません。 [P.31](#)



まるごと録画番組を見る

番組表形式の「まるごと録画一覧」から、録画番組をかんたんに見ることができます。 [P.35](#)

おすすめ再生をする

お好みの番組を自動で分類し、まとめて再生できます。番組終了まで再生した場合は、自動的に次の番組を再生してくれるので、連続ドラマなどのシリーズ番組を一気に見るときにも便利です。 [P.49](#)



※ 本機で再生できるのは、まるごと録画された番組のみです。まるごと録画で設定したチャンネル以外の番組や設定時間外の番組は視聴できません。



まるごと録画番組の保存

まるごと録画された番組は、まるごと録画用領域の容量がいっぱいになると、古い番組から自動的に消去されます。番組保存をおこなうと、お気に入りの番組を残しておくことができます。 [P.42](#)



もくじ

はじめに		各種設定	
	ページ		ページ
本機の特長について	2	USB-HDDを接続・設定する	60
もくじ	3	機器制御機能について	63
安全のために必ずお守りください	4	自己診断機能について	65
ご使用の前に	10	ソフトウェア情報と更新について	68
各部のなまえとはたらき	12		
<hr/>			
接続とかんたん一括設定		さまざまな情報	
準備の流れ	15	文字入力のかた	69
準備1 ▶ 付属品を確認する	16	本機や放送局からのお知らせを確認する	72
準備2 ▶ リモコンを準備する	16	いろいろな設定を変える(本体設定)	73
準備3 ▶ アンテナやテレビとつなぐ	17	放送関連の設定を変える(放送受信設定)	75
準備4 ▶ 電源をオンにする	19	本機を初期化する	77
準備5 ▶ 【かんたん一括設定】をする	20	二カ国語・マルチ番組・字幕について	78
【かんたん一括設定】をやりなおす	25	各メディアに関するその他のお知らせ	79
リモコンを設定する	26	テレビ画面に表示されるメッセージ	80
映りが悪いチャンネルを調整する	27	困ったときは	81
画面表示の見かた	28	症状に合わせて解決法を調べる	82
画面に表示されるアイコンについて	29	使用上のお願い	87
ホームについて	30	用語解説	91
		保証とアフターサービス	94
		症状診断シート	95
		仕様	96
		さくいん	97
<hr/>			
まるごと録画機能で録画・再生・保存する			
まるごと録画の前に	31		
まるごと録画の設定を変更する	32		
まるごと録画番組を見る	35		
まるごと録画番組を保存する	42		
まるごと録画についての補足説明	45		
<hr/>			
おすすめ再生機能で再生する			
おすすめ再生をする	49		
おすすめ再生から番組を保存／消去／ 保護する	54		
再生するときの操作	56		
再生するとき便利な機能	58		
再生についての補足説明	59		

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 図記号について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 図記号の例



- 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



- △ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

- 図記号の意味



必ず指示に従い、おこなってください。



絶対に濡れた手で触れないでください。



絶対に分解／修理はしないでください。



破裂に注意してください。



絶対に濡らさないでください。



絶対におこなわないでください。



高温に注意してください。



絶対に水場では使用しないでください。



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意してください。



絶対に触れないでください。

※この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の場合は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井電機株式会社

警告

ご使用になるとき

 禁止	本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない
<ul style="list-style-type: none"> ● 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。 	
 水漏れ禁止	本機の上に水などの入った容器や金属物、火のついたろうそくを置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。 ● 裸火が倒れた場合は、火災の原因となります。 	
 水漏れ禁止	本機を水でぬらさない 水滴のかかる場所に置かない
 水場での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。 ● 風呂場では使用しないでください。 ● 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。
 改造・分解禁止	本機を改造または分解しない
<ul style="list-style-type: none"> ● キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。 ● 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 	
 指示	アンテナは送配電線から離れた場所に設置する
<ul style="list-style-type: none"> ● 倒れた場合は、感電事故の原因となります。 	
 禁止	本機にダストスプレー(エアダスター)を使用しない
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。 	

乾電池の取り扱い

 禁止	乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしているものは使用しない
<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。 	
 禁止	乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない
<ul style="list-style-type: none"> ● 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。 	

電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。
通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

 禁止	本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない
<ul style="list-style-type: none"> ● 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 ● 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかどうか一度確かめてください。 	
 ほこりをとる	電源プラグのほこりなどはとる
<ul style="list-style-type: none"> ● 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。 ● ほこりをとる際は、かわいた布で拭いてください。 	
 接触禁止	雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない
<ul style="list-style-type: none"> ● 落雷すると感電することがあります。 	
 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない
<ul style="list-style-type: none"> ● 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。 ● 必ずかわいた手で持ってください。 	
 禁止	延長・タコ足配線しない
<ul style="list-style-type: none"> ● タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。 	

安全のために必ずお守りください(つづき)

警告

電源コード・プラグの取り扱い(つづき)



禁止

ACアダプターのコード・電源コード・電源プラグを傷つけない

- 破損させない
- ねじらない
- 加熱しない
- 曲げない
- 引っぱらない
- 重いものをのせない
- 加工しない
- 束ねない
- 切断しない
- 固定しない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因となります。



禁止

電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。



禁止

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない

- 火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電・火災の原因となります。



禁止

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

- 感電の原因となります。



禁止

電源コードを動かすと電源がオンになったり、オフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。



使用中止

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



指示

ACアダプターは、本機の付属品を使用する

- 指定以外のACアダプターおよび電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。付属のACアダプターと電源コードは国内専用です。



禁止

本機に付属されているACアダプターおよび電源コードを他の機器に使用しない

- 他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



分解禁止

ACアダプターを修理・改造・分解しない

- 火災の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーベットのの上に置いたりしない

- 火災・故障の原因となることがあります。

異常が発生したとき(電源プラグを抜く)



使用中止

本機やACアダプター、電源コードが異常なとき

(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。



使用中止

本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠️ 注意

■ 設置・移動するとき



塩害注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。



使用禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。



設置禁止

本機やACアダプターを
次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。



禁止

本機の上に乗らない

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃を
あたえない

- 故障の原因となることがあります。



禁止

本機の通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 新聞紙・カーテン・テーブルクロスなどをかけない
- 背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10 cm 以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因となります。



指示

アンテナ工事は専門業者に
お願いする

- アンテナ工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。



正しく設置する

安定した場所に設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。



禁止

周囲温度が35°Cをこえる場所に
置かない

- 内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱い



プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグを
コンセントから抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

次のような場合は、電源プラグを
コンセントから抜いておく

- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

本機を移動させる場合は、電源プラグを
コンセントから抜き、アンテナ線や外部の
接続線もはずす

- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを引っ張らない

- ACアダプターの電源コードやDCプラグを抜くとき、電源コードやACアダプターのコードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。
- 必ずACアダプターと電源コードのプラグ、DCプラグを持って抜いてください。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

電源コード・プラグの取り扱い (つづき)



電源コードを引き回さない

禁止

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。



電源プラグに洗剤や殺虫剤を かけない

禁止

- 発煙・発火の原因となります。



電源コードを熱器具に近付けない

禁止

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプターのDC プラグや、ACアダプターにつないだ 電源コードを抜き挿ししない

- 感電の原因となることがあります。



禁止



破裂注意

乾電池の取り扱いに注意

- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

- 破裂する危険があります。

■ ご使用になるとき



掃除

年に1度を目安に本機内部の 掃除を依頼する

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 乾電池の取り扱い



正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

- プラス (+) とマイナス (-) の向きを正しく入れる
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。



使用禁止

指定されていない乾電池を使用 しない

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。



使用禁止

新しい乾電池と古い乾電池を 混ぜて使用しない

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

置き場所や取り扱い

- 本機をテレビや他のレコーダーと上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりするなどの故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声中にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、事前に外部接続機器(USB-HDDなど)を取りはずし、ケーブル類を抜いてください。移動時は必ず電源をオフ(待機)にした状態で移動させてください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声中に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性の高いものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、本機の電源をオフ(待機)にしておいてください。
 - ※ 長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源をオンにして作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。

アンテナについて

- 妨害電波を避けるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされている場合は、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭き取り、最後にかわいた布でから拭きしてください。中性洗剤をご使用の場合は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

修理について

- 本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

ご使用の前に

本書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に記載しています。
- 「本機」とは「お使いのまるごと録画ハードディスク」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。用語については、「用語解説」[P.91](#)をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージやが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。本機の製造番号は背面に印刷されています。

本書で使用するマークの意味

マーク	説明
	取り扱い上のご注意を記載しています。
	機能などの補足説明、参考にさせていただきたいこと、制限事項などを記載しています。
	関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。
	 を押して基本の手順と同じ操作や設定などもおこなえます。
	 や  などで選択すること、または次の動作に移行する場合に記載しています。

リモコンについて

「アルカリ乾電池ご使用時の注意」

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池（アルカリ乾電池とマンガン乾電池など）を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池（1.5V 2本）をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 以下の場合は乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。） [P.16](#)
 - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
 - テレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定（「FUNAI」）に戻ってしまうとき。
- リモコンの乾電池を交換するとテレビメーカーの設定 [P.26](#) がお買い上げ時の設定（「FUNAI」）に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

▷ リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

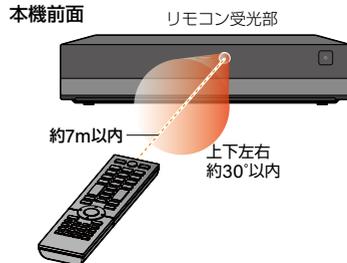
距離…本機正面から7m以内

角度…本機正面から上下約30°以内（5m以内）
左右約30°以内（5m以内）

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

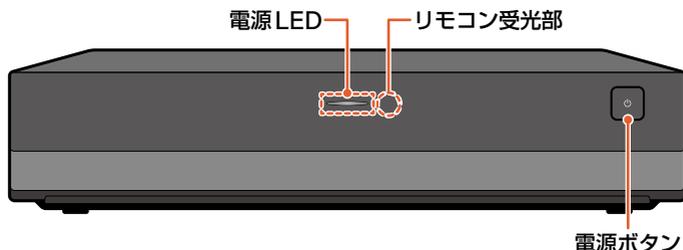
▷ リモコンの取り扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体で拭かないでください。



各部のなまえとはたらき

本機前面



LEDの点灯・点滅について

以下のようにLEDが点灯・点滅します。

点灯(青色)：電源オン

点灯(白色)：電源オフ(まるごと録画中)

点滅(白色)：ソフトウェアの更新中

消灯：電源オフ(待機)*

(電源プラグをコンセントから抜いても問題ない状態)

※ 使用状況によっては、電源をオフ(待機)にしてからLEDが消灯するまでに時間がかかることがあります。

ご注意

- 電源LED消灯時も本機およびACアダプターは通電しています。通電を完全に止めるためには、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

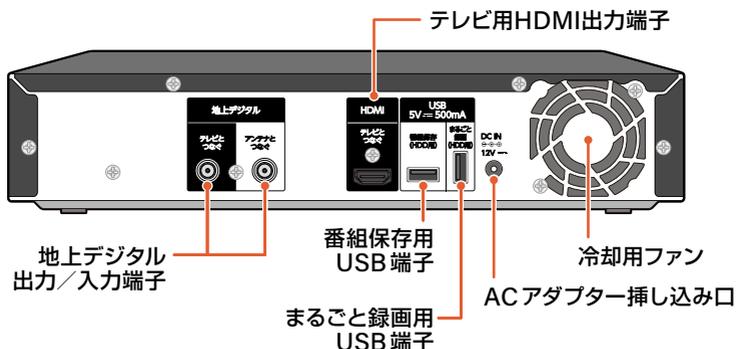
電源プラグについて

- 電源プラグを抜くときは、電源をオフ(待機)にして、本機の電源LEDが消灯したことを確認してから電源プラグを抜いてください。
- 本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタル出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できなくなる場合があります。その場合は、本機の電源プラグは常にコンセントに挿し込み(通電状態にして)、**ホーム**→**設定**→**放送受信設定**→**【一般設定】**→**【アンテナ出力】**→**【入】**にしておいてください。くわしくは「アンテナ出力」[P.76](#)をご覧ください。
- 本機の動作中は電源プラグを抜き挿ししないでください。正常に録画できなかつたり、内蔵ハードディスク/USB-HDDが使用できなくなつたりする恐れがあります。

ご注意

- 本機内部の放熱をよくするために、本機の上および周囲にそれぞれ10cm以上の空間を設けてください。本機の通風孔や冷却用ファンをふさがないでください。

本機背面



ご注意

-  は直流電源のことです。

お知らせ

- 背面の冷却用ファンは、本機の電源がオン、番組データ受信時に常時回ります。

アンテナやアンテナ線(同軸ケーブル)について

- デジタル放送用のアンテナやケーブルまたはプラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 平行フィーダー線は受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。

ご注意

- アンテナ線を本機につなぐときは、緩まない程度に手で取り付けてください。工具で絞めつけると端子が破損する恐れがあります。



HDMIケーブルについて

- 映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)を使用して、本機とテレビとの連動操作を可能にする機能が使えます。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。(ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声途切れてしまいます。)
- HDMIケーブルは、タイプCなどプラグの大きさや形状によって接続できないものもあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI-HDMIケーブルには対応しておりません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

各部のなまえとはたらき(つづき)

リモコン

で囲まれたボタンは、テレビの操作専用ボタンです。本機の操作には使用できません。

テレビの入力を切り換える

電源をオンにする／
オフ(待機)にする **P.19**

テレビの状態や情報を表示する

テレビの電源をオンにする／
オフにする

テレビのチャンネルを順送り
または逆送りで選局する

数字ボタン
テレビのチャンネル番号を選ぶ

テレビの音声を消す

テレビの音量を調節する **P.26**

テレビの放送波を切り換える

BS/CS
4K ……新4K8K衛星放送
地上 ……地上デジタル放送
BS ……BSデジタル放送
CS ……110度CSデジタル放送

まるごと録画一覧を表示する

おすすめ再生を表示する **P.49**

1つ前の画面に戻る
長押しの場合は、画面表示を消して
ホームメニューを表示する

▲▼◀▶ …… 選ぶ
決定 …… 決定する

操作画面などで使用する

ホームメニューを表示する **P.30**

再生や再生中の操作で使用する

番組内容を表示する **P.51**

本機の状態や情報を表示する **P.28**

字幕を切り換える **P.58**

音声を切り換える **P.58**

お知らせ

- 電源 以外で、上の図の で囲われているボタンを押して本機の電源をオンにすることもできます。

ご注意

- リモコンが正しく操作できないときは、「症状に合わせて解決法を調べる」 **P.82** をご覧ください。
- 乾電池の入れかたについて、くわしくは **P.16** をご覧ください。
- 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製ブルーレイディスク/DVDプレーヤーやビデオデッキの操作はできません。
- ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。



サポート動画のご案内

当社製品情報サイトの「サポート」ページで、サポート動画をご覧いただけます。サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。

funai.jp/cs/supportmovie/#m2040



準備の流れ(つづき)

準備1 ▶ 付属品を確認する

□の中にチェックマーク(✓)を付けて、すべての部品が正しく付属されているかをご確認ください。欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン/1台
(FRM-105HDR)

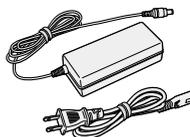


簡易版取扱説明書



ACアダプター
(UADDCAH0N002)/1個

電源コード(0.9m)/1本



(付属の電源コードとACアダプターは本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、他の機器の電源コードやACアダプターを本機に使用しないでください。)

単4形乾電池(R03)/2本



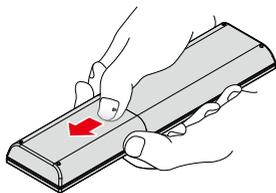
動作確認用

同軸ケーブル(1.5m)/1本
(地上デジタル放送専用)

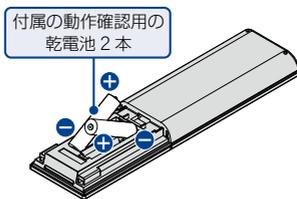


準備2 ▶ リモコンを準備する

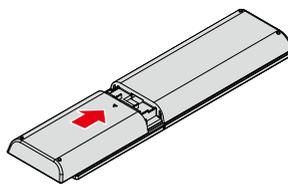
① 下図の通り、▽マークの部分を押しながら、矢印の方向にスライドさせてははずす



② ⊕/⊖をよく確かめて
⊖側から正しく入れる



③ 裏ふたをつける



ご注意

● アルカリ乾電池ご使用の注意

アルカリ乾電池は外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極パネが乾電池のマイナス極と被覆(外枠の被覆はかかっている場合)に同時に接触したとき、乾電池そのものがショート(短絡)状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

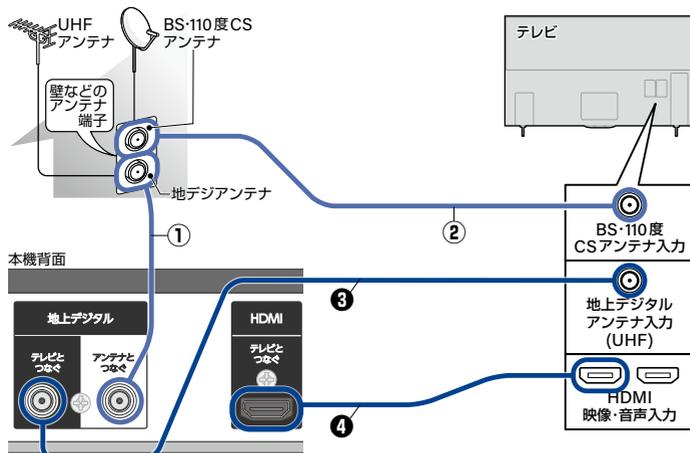
- 乾電池および乾電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かないでください。
- 乾電池は⊖側から入れてください。

お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単4形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 乾電池をご使用の場合は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池(アルカリ乾電池とマンガン乾電池など)を混ぜずに、同一メーカー、同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が異なるため、発熱・破裂・発火の原因となりますのでご注意ください。

準備3 ▶ アンテナやテレビとつなぐ

壁などのアンテナ端子が2つの場合

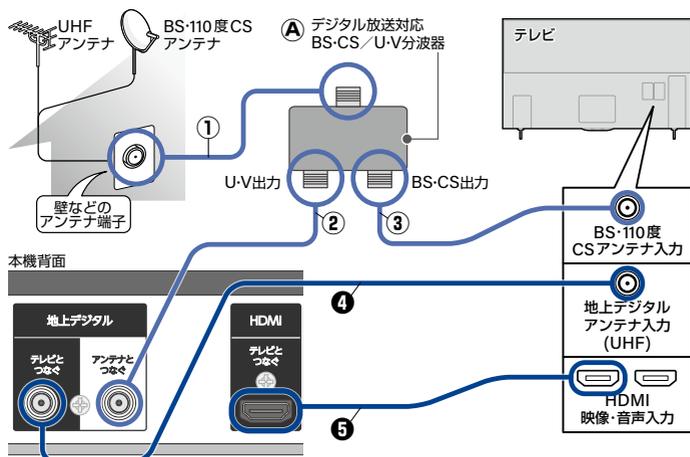


◎ 地上デジタル放送のみを受信する場合は、①③④のみ使用します。

接続に必要なもの
(③以外はすべて市販品)

- ① 地上デジタル放送アンテナケーブル*
- ② BS-110度CSデジタル放送アンテナケーブル
- ③ 地上デジタル放送アンテナケーブル(付属品)
- ④ HDMIケーブル

壁などのアンテナ端子が1つの場合



◎ 地上デジタル放送のみを受信する場合は、①④⑤のみ使用します。

①は本機の「アンテナとつなぐ」端子に直接つないでください。

* シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

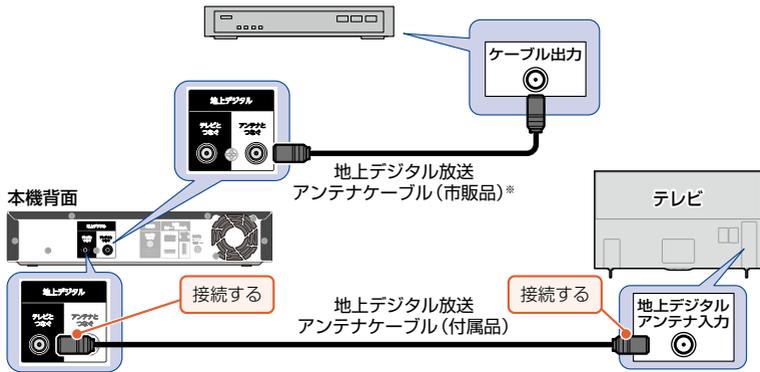
ご注意

- 本機ではBS-110度CSデジタル放送と新4K8K衛星放送の受信はできません。
- HDMIケーブルの接続には、ハイスピード対応HDMIケーブルをお使いください。(ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声途切れることがあります。)
- 本機の電源プラグは常にコンセントに挿し込んで(通電状態にして)おいてください。本機の電源プラグをコンセントから抜くと、本機背面の地上デジタル放送出力端子に接続したテレビで放送を受信できなくなる場合があります。

CATV(ケーブルテレビ)チューナーをつなぐ

以下は接続の一例です。

実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器やCATV会社ごとに詳細が異なります。くわしくはチューナーに付属の取扱説明書をご覧くださいのうえ、CATV会社へお問い合わせください。



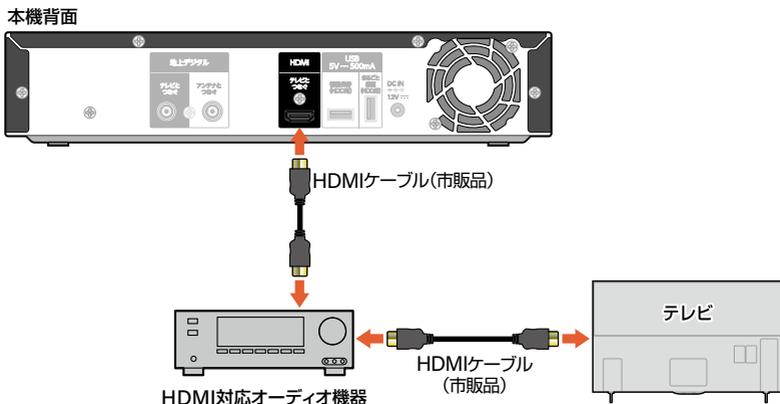
※ シールド性能が高いものをご使用ください。シールド性能が低いものでは、周囲のノイズの影響により受信性能が悪化する場合があります。

お知らせ

- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのまま送る方式です。ご加入のCATV会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。CATV経由の地上デジタル放送は、本来のUHFチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくる場合があります。

AVアンプとつなぐ

HDMIケーブルの接続には、HDMIロゴのあるハイスピード対応HDMIケーブル(市販品)をお使いください。(ハイスピード対応でないHDMIケーブルで接続すると映像や音声が入りません。)



ご注意

- HDMIケーブルを使って接続した場合は、テレビから音が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。くわしくはAVアンプやテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI対応オーディオ機器によっては、【機器制御】機能をご利用できないことがあります。

準備4 ▶ 電源をオンにする

電源プラグを挿し込む

1 ACアダプターのDCプラグを本機背面に接続し、ACアダプターに電源コードを接続する

- 奥までしっかり挿し込んでください。

2 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに挿し込む

- 本機を初めて起動させるときは、自動的に電源がオンになり、電源LED(青色)が点灯します。



▷ 電源プラグを挿し込んでも自動的に電源がオンにならない場合は



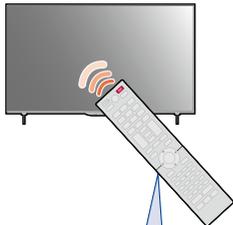
- アンテナが本機と接続されていることを確認してから、**電源**を押してください。
- 電源がオンになると電源LED(青色)が点灯します。

ご注意

- 通電中はACアダプターの温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、ACアダプターの上および周囲にそれぞれ10cm以上の空間を設けてください。
- 付属のACアダプター、電源コードは本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、他の機器のACアダプター、電源コードを本機に使用しないでください。

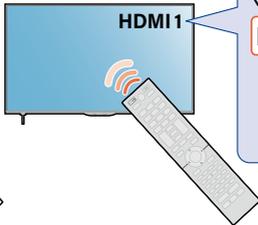
テレビの入力を切り換える

① 電源をオンにする



テレビのリモコンを使って操作してください。
(本機に付属のリモコンでは設定をおこなう
まではテレビを操作できません。)

② 外部入力に切り換える



〈テレビの入力切替表示一例〉

HDMI 1 → HDMI 2 → ビデオ

画面に【HDMI】が表示されるまで、
テレビのリモコンの入力切替ボタンを
繰り返し押してください。

- 【かんたん一括設定】の開始画面が表示されるので、続けて「準備5 ▶ 【かんたん一括設定】をする」 P.20 ～ P.24 をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。

▶ 初めて本機の電源をオンにしたときに、画面に何も表示されない場合は

次のことを確認してください。

- 本機⇄テレビをHDMIケーブルでつないでいますか。
- HDMIケーブルや電源プラグが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。
HDMIケーブルや電源プラグの接続方法について、くわしくは P.17 ～ P.19 をご覧ください。
- テレビの入力切替で本機を接続したHDMI入力に切り換えていますか。

お知らせ

- 本機を使用されるときは、毎回外部入力に切り換えてください。その際、本機とテレビを接続している端子(「HDMI1」など)と、テレビに表示される入力切替表示が同じであることをご確認ください。

準備5 ▶ 【かんたん一括設定】をする

接続が終わって初めて本機の電源をオンにしたときは、テレビ画面に【かんたん一括設定】の開始画面が表示されます。画面の案内に従って設定を完了させてください。

- 【かんたん一括設定】は必ずアンテナが接続された状態で、番組が放送されている時間帯におこなってください。放送がない時間帯におこなうと、信号が受信できないためにチャンネル設定が正常にできず、チャンネルが選択できない状態となります。
- 【かんたん一括設定】実行中は電源プラグを抜かないでください。
- 【かんたん一括設定】実行中に **電源** を押すと、本機の電源はオフ(待機)になりますが【かんたん一括設定】が完了したことはありません。次回起動時に【かんたん一括設定】を最後まで設定してください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、【かんたん一括設定】をやりなおしたいときは P.25 をご覧ください。

1 設定を開始する が選ばれているので **決定** を押す

■ 県域設定

2 お住まいの地方区分を選んで **決定** を押す

東北	千葉県
関東	東京都
中部	東京都(島部)
近畿	神奈川県
中国	新潟県
四国	富山県
九州沖縄	石川県

- 郵便番号を設定済みの当社製テレビ*と接続すると、テレビの設定情報を取得して手順2と手順3をスキップしますので、手順4に進んでください。(設定情報が取得できない場合は手順2と手順3をおこなう必要があります。)

※ テレビがHDMI-CECに対応している必要があります。対応機種については、当社製品情報サイトの「サポート」ページ (funai.jp/cs/) をご覧ください。

3 お住まいの県域を選んで **決定** を押す

北海道	茨城県
東北	栃木県
関東	群馬県
中部	埼玉県
近畿	千葉県
中国	東京都
四国	東京都(島部)
九州沖縄	神奈川県

- 伊豆、小笠原諸島地域は、**東京都(島部)** を選びます。
- 鹿児島県の南西諸島地域は、**鹿児島県(島部)** を選びます。
- 地上デジタル放送チャンネルのスカンが始まります。(スカンが完了するまで10分程度かかることがあります。)
- スカニングが終わると、「チャンネル設定(地上デジタル)」画面にチャンネルの受信結果が表示されます。



- 県域設定に誤りがあると、放送が正しく受信できない場合があります。

4 次へを選んで **決定** を押す

	信号品質		信号品質
① 011 ○○放送	26	⑦ 071 放送□□	35
② 021 テレビ□□	35	⑧ 081 テレビ△△	34
③ 031 △△放送	31	⑨ ---	---
④ 041 □□放送	35	⑩ 101 放送○○	36
⑤ 051 テレビ○○	31	⑪ ---	---
⑥ 061 放送△△	36	⑫ ---	---

チャンネルの設定一覧

- 信号品質が20以下の場合、信号品質の数値が赤色で表示されます。
 - 一部のチャンネルを受信できないことがあります。
- ▷ 信号品質の数値が赤色で表示されたり、【チャンネルを受信できませんでした。】が表示されたりしたときはアンテナ⇄本機⇄テレビの接続をご確認後、**再スキャン**を選んで**決定**を押してください。再度、地上デジタル放送チャンネルのスカンが始まります。

■ まるごと録画設定

5 まるごと録画するチャンネルを選んで **決定** を押す

まるごと録画設定

まるごと録画するチャンネルを6つまで設定できます。
チャンネルを選択して決定ボタンを押してください。
※番組情報などの取得のために、6番目のチャンネルはまるごと録画が一時停止されることがあります。

信号品質			信号品質				
<input type="checkbox"/>	011	〇〇放送	23	<input checked="" type="checkbox"/>	071	テレビ△△	29
<input checked="" type="checkbox"/>	021	テレビ□□	28	<input checked="" type="checkbox"/>	081	〇〇テレビ	29
<input type="checkbox"/>	031	△△放送	26	<input type="checkbox"/>	091	—	—
<input checked="" type="checkbox"/>	041	□□放送	29	<input checked="" type="checkbox"/>	101	□△テレビ	29
<input type="checkbox"/>	5	テレビ〇〇	24	<input type="checkbox"/>	111	—	—
<input checked="" type="checkbox"/>	061	△△テレビ	29	<input type="checkbox"/>	121	—	—

次へ
戻る

選んだチャンネルに✓が付きます。

- チャンネルは6つまで登録できます。
- 6つめのチャンネルを選ぶと✓の色が変わり、確認画面が表示されますので、**決定**を押してください。


ご注意

- 【利用不可】の表示があるチャンネルは選ぶことができません。
- 6つめに選んだチャンネルは、番組データの取得や放送波による自動更新のデータ取得のため、まるごと録画が一時停止することがあります。
- サブチャンネルは選ぶことができません。サブチャンネルを設定する場合は、【設定】⇒【まるごと録画設定】⇒【録画チャンネル】からおこなってください。

6 **次へ** を選んで **決定** を押す

7 録画する時間帯を選んで **決定** を押す



すべて :

メンテナンス時間をのぞき、毎日23時間録画します。

おすすめ :

毎日午後4:00～午前2:00までの10時間録画します。

ゴールデンタイム :

毎日午後7:00～午後11:00までの4時間録画します。

カスタム :

お好みの曜日・時間帯を手動で選んで録画します。

▶ お好みで録画する曜日と時間帯を選ぶときは

① **カスタム** を選んで **決定** を押してください。

ここを選ぶとすべての時間帯（メンテナンス時間以外）を選択できます。

ここを選ぶと曜日で選択できます。

ここを選ぶと時間帯で選択できます。

ここを選ぶと特定曜日の特定時間だけ選択できます。

緑を押すとメンテナンス時間が1時間“後”になります。

黄を押すとメンテナンス時間が1時間“前”になります。

設定完了

② 設定が終わったら、**設定完了** を選んで **決定** を押してください。

8 まるごと録画の画質を選んで **決定** を押す



● 録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって、お好みの画質を選んでください。

	画質	録画時間
高画質	きれい	短い
中画質	↑	↓
低画質	↓	↑
長時間画質	あらい	長い

■ テレビ操作設定

9 テレビリモコン設定をするかしないかを選んで **決定** を押す

- **いいえ** を選んだときは、手順13に進んでください。

10 お使いのテレビメーカーを選んで **決定** を押す

- お使いのテレビメーカーが表にない場合は、**設定しない** を選んで **決定** を押して、手順13に進んでください。

11 **停止** を押したまま、数字ボタンを押す

- 画面の表示を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を2桁で入力してください。(お買い上げ時の設定は、「FUNAI(11)」になっています)
例：DX(12)に設定する場合は、**停止** を押したまま、**1** → **2** を押したあと、**停止** から指を離してください。
- テレビメーカーの一覧表は **P.26** を参照してください。

12 **音量** を押してテレビの音量が正しく調節できることを確認し、**次へ** を選んで **決定** を押す

- ▷ **テレビの音量が調節できないときは**
テレビメーカーの番号が設定できていない可能性があります。もう一度、手順11をおこなってください。
- ▷ **メーカー番号が複数あるときは**
いずれかの番号で設定してもテレビの操作ができないときは、画面の指示に従って別の番号で試してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンでは、テレビメーカーの設定や操作ができないことがあります。
- テレビメーカーの設定ができて一部機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

13 **完了** を選んで **決定** を押す

- 【かんたん一括設定】が完了します。

【かんたん一括設定】をやりなおす

転居でお住まいの地域が変わったときなどに、【かんたん一括設定】 P.20 ～ P.24 をやりなおすことができます。

1 **ホーム** を押し、**設定** を選んで **決定** を押す

2 **かんたん一括設定** を選んで **決定** を押す



【かんたん一括設定】を選ぶ

3 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押す

- かんたん一括設定が始まります。
- すべての設定が終わったら、**戻る** を押すと、ホーム画面に戻ります。

ご注意

- 以下の場合は、【かんたん一括設定】はおこなえません。
 - まるごと録画機能を【有効】に設定しているとき
 - まるごと録画番組の保存中
- かんたん一括設定をやりなおすと、まるごと録画の設定がリセットされ、これまでまるごと録画した番組がすべて消去されます。

リモコンを設定する

本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する

テレビメーカーを設定する

テレビを操作する前に、お使いのテレビメーカーを設定してください。

1 を押したまま、数字ボタンを押す

- 下記の表を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2桁で入力してください。(お買い上げ時の設定は、「FUNAI(11)」になっています。)

例：DX(12)に設定する場合は、 を押したまま、**1** → **2** を押したあと、 から指を離してください。

テレビメーカー	番号	テレビメーカー	番号
FUNAI	11	日立 (1)	22
DX	12	日立 (2)	23
シャープ (1)	13	LG	24
シャープ (2)	14	三菱	25
シャープ (3)	15	パイオニア	26
パナソニック (1)	16	三洋 (1)	28
パナソニック (2)	17	三洋 (2)	29
ソニー	18	ビクター	31
東芝 (1)	19	ハイセンス	32
東芝 (2)	21		

- この表は、 を押して、**設定** → **本体設定** → **その他** → **リモコン設定** → **リモコン側のテレビ操作設定** を選んでも確認できます。

2 を押してテレビの音量が正しく調節できることを確認する

- ▷ テレビの音量が調節できないときは
テレビメーカーの番号が設定できていない可能性があります。もう一度、手順1をおこなってください。
- ▷ メーカー番号が複数あるときは
いずれかの番号で設定してもテレビの操作ができないときは、別の番号で試してください。

ご注意

- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができて、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

映りが悪いチャンネルを調整する

地上デジタル放送のアンテナを調整する

【アッテネーター】を【入】に設定すると、状況が改善されることがあります。

1 **ホーム**を押して、**設定** → **放送受信設定** を選んで **決定** を押す

2 **地上デジタル設定** → **受信状態の確認** を選んで **決定** を押す

3 **物理チャンネル欄**を選んで **決定** を押す



- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13~62CH)のことです。

▶ **地上デジタル放送用のアンテナレベルについて**

この画面で信号強度と信号品質を確認しながら、UHF アンテナの向きを調整できます。(信号強度は「18~37」、信号品質は「20」以上が目安です。)

4 **映りの悪いチャンネル**を選んで **決定** を押す

5 **アッテネーター欄**を選んで **決定** を押す

6 **入**を選んで **決定** を押す

- 信号強度が変更されます。(入)に設定すると信号強度が弱くなり、状況が改善されることがあります。)
- CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、CATVの13~63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順3で、【物理チャンネル】の先頭に【C】が表示されます。
- 調整が終わったら、**戻る**を約1秒長押しすると、調整が完了してホーム画面に戻ります。

ご注意

- 以下の場合、放送受信設定をおこなうことができません。
 - まるごと録画機能を【有効】に設定しているとき
 - まるごと録画番組の保存中
- 地域により、受信状況が異なる場合があります。
- 信号強度・信号品質が推奨レベルに達していても、放送画面が表示されないRMP方式に対応していないチャンネルは、本機では録画できません。

お知らせ

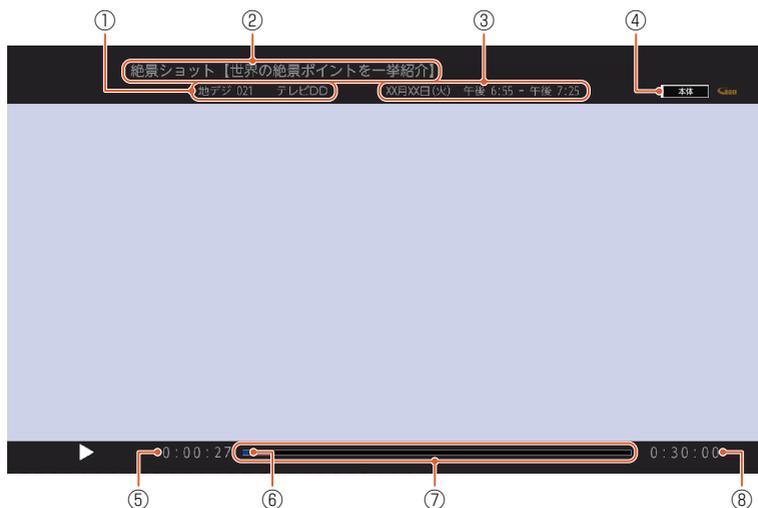
- 信号品質の数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

画面表示の見かた

▷ 現在の本機の状態や情報を表示するときは

リモコンの  を押すと、番組情報とタイムバーが表示されます。もう一度  を押すと、画面表示を消すことができます。

▷ 番組再生中の表示例



- ① 放送の種類／チャンネル番号と放送局名
- ② 番組名
- ③ 番組の放送日時
- ④ 本機の動作状態により、以下のどちらかが表示されます。
 保存番組の再生中：  番組が保存されているメディアの種類
 まるごと録画番組の視聴中：  (まるごと録画アイコン)
- ⑤ 再生時間
- ⑥ 再生位置
- ⑦ タイムバー
- ⑧ 総再生時間

お知らせ

- 画面表示は、リモコンの ・ を押して表示することもできます。(数秒後に表示が消えます。)
- 音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。

画面に表示されるアイコンについて

▷ メディアの種類

	本体(内蔵ハードディスク)
	USB-HDD



- 画面に  が表示されるときは、現在その操作をおこなうことができません。

▷ 主な動作

	番組の消去処理中など
	再生
	再生一時停止
	音声付き早見再生 (約1.3倍速再生)
	音声付きゆっくり再生 (約0.8倍速再生)
	音声付き早見再生 (約1.6倍速再生)
	早送り、早戻し
	スロー、逆スロー再生
	正方向、逆方向のスキップ
	30秒スキップ、 10秒戻し

ホームについて

以下に示す機能は、ホームメニューを表示してから操作します。

■ ホームメニューは、リモコンの **ホーム** を押すと表示されます。



機能名(一例)		できること
	まるごと録画一覧	まるごと録画した番組の再生や保存をします。
	おすすめ再生	お気に入りの条件と見やすい画面で番組を再生します。
	設定	設定変更や診断、お知らせメールを確認します。

お知らせ

- 見出しに右記のイラストを記載している項目は、**ホーム** を押して基本の手順と同じ操作や設定などをおこなうこともできます。



まるごと録画の前に

まるごと録画は、設定した曜日や時間帯の番組を自動的に録画し、お好きな時間に視聴できる機能です。本機では、最大6チャンネルまでハイビジョン画質*で同時に録画することができます。

※ 放送のデータを圧縮変換した画質です。デジタル放送をきれいなまま、容量を節約して録画できます。

本機の不具合または放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

まるごと録画機能について

録画できる放送種別	地上デジタル放送
録画できるチャンネル数	最大6チャンネル
録画できる時間数	最大23時間
画質設定	高画質 中画質 低画質 長時間画質

ご注意

- ホーム → 【設定】 → 【まるごと録画設定】 → 【録画チャンネル】で以下の設定を変更すると、まるごと録画番組が消去されます。
 - チャンネル数を変更すると、これまで録画されたすべてのチャンネルのまるごと録画番組が消去されます。
 - 選局を変更すると、変更前のチャンネルのまるごと録画番組はすべて消去されます。
- 6つめに選んだチャンネルは、番組データの取得や放送波による自動更新のデータ取得のため、まるごと録画が一時停止することがあります。

番組の録画制限について

番組によっては、著作権保護のため録画が禁止・制限されています。

制限なしに録画可能	○
1回だけ録画可能	○
ダビング10	○
録画禁止	×

○：できる ×：できない

ご注意

- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は録画できません。
- まるごと録画中に「録画禁止」番組になったときは、録画できません。
- 二カ国語・マルチ番組・字幕を含む番組の録画制限について、くわしくは [P.78](#) をご覧ください。

まると録画の設定を変更する

【設定】から変更する

▶ すでにまると録画機能を利用しているときは

あらかじめ、まると録画機能を「無効」にする必要があります。くわしくは「まると録画機能を有効／無効にする」をご覧ください。

1 ホームを押して、設定 → まると録画設定 → 録画チャンネルを選んで決定を押す

2 チャンネル一覧で変更したい録画チャンネルを選んで決定を押す

- チャンネルの設定が終わったら、設定完了を選んで決定を押してください。

3 画質設定を選んで決定を押す

- 録画する番組の画質を優先するか、録画時間を優先するかによって、お好みの画質を選んでください。

	画質	録画時間
高画質	きれい ↑	短い ↓
中画質		
低画質	あらい ↓	長い ↓
長時間画質		

4 お好みの画質を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されたときは、はいを選んで決定を押してください。

5 録画時間帯を選んで決定を押す

6 録画する曜日と時間帯を選んで決定を押す

- 録画時間帯の目安は P.46 をご覧ください。
- 曜日と時間帯の設定が終わったら、設定完了を選んで決定を押してください。
- 確認画面が表示されたときは、はいを選んで決定を押してください。

7 まると録画機能 → 有効を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、戻るを押してください。

ご注意

- 【録画チャンネル】で以下の設定を変更すると、まると録画番組が消去されます。
 - チャンネル数を変更すると、これまで録画されたすべてのチャンネルのまると録画番組が消去されます。
 - 選局を変更すると、変更前のチャンネルのまると録画番組はすべて消去されます。
- 6つめに選んだチャンネルは、番組データの取得や放送波による自動更新のデータ取得のため、まると録画が一時停止することがあります。
- まると録画番組の保存中は、まると録画設定をおこなうことができません。

まると録画機能を有効／無効にする

1 ホームを押して、設定 → まると録画設定 → まると録画機能を選んで決定を押す

2 有効または無効を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、戻るを押してください。

録画する曜日と時間帯を設定する

【まるごと録画機能】を【無効】にしてから設定してください。
【有効】にしている場合でも設定は見ることができます。

1 **ホーム** を押して、**設定** → **まるごと録画設定** → **録画時間帯** を選んで **決定** を押す

2 お好みの項目を選んで **決定** を押す

すべて :

メンテナンス時間をのぞき、毎日23時間録画します。

おすすめ :

毎日午後4:00～午前2:00までの10時間録画します。

ゴールデンタイム :

毎日午後7:00～午後11:00までの4時間録画します。

カスタム :

お好みの曜日・時間帯を手動で選んで録画します。

- 録画時間帯の目安は **P.46** をご覧ください。

▷ **カスタム** に設定するとき

① **カスタム** を選んで **決定** を押してください。

ここを選ぶとすべての時間帯（メンテナンス時間以外）を選択できます。

ここを選ぶと曜日で選択できます。

ここを選ぶと時間帯で選択できます。

ここを選ぶと特定曜日の特定時間だけ選択できます。

緑を押すとメンテナンス時間が1時間“後”になります。

黄を押すとメンテナンス時間が1時間“前”になります。

まるごと録画機能を有効にする曜日と時間帯を設定してください。 視聴可能日数: 約-1-日

会	日	月	火	水	木	金	土	日
早朝	5:00~							
朝	6:00~							
	7:00~							
	8:00~							
	9:00~							
昼	10:00~							
	11:00~							
	午後 0:00~							
	1:00~							
夕	2:00~							
	3:00~							
	4:00~							
	5:00~							
夜	6:00~							
	7:00~							
	8:00~							
	9:00~							
深夜	午前 0:00~							
	1:00~							
	2:00~							
	3:00~							

メンテナンス時間変更(+) メンテナンス時間変更(-)
 録画時間帯 メンテナンス時間
 ※メンテナンス時間はまるごと録画を実行できません。

設定完了

- まるごと録画機能を使うときは、メンテナンスのための時間帯が必要になります。(メンテナンス時間中はまるごと録画できませんのでご注意ください。)
メンテナンス時間を変更する場合は、**緑** または **黄** を押して、【メンテナンス時間】の時間帯を選んでください。
- 深夜の午前0:00以降を選ぶと翌日として設定されます。

② **設定完了** を選んで **決定** を押してください。

まるごと録画の設定を変更する(つづき)

まるごと録画の設定を初期化する

まるごと録画の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 **ホーム** を押して、**設定** を選んで **決定** を押す
- 2 **まるごと録画設定** → **設定初期化** を選んで **決定** を押す
- 3 確認画面が2回表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押す
 - 設定が終わったら、**戻る** を押してください。



- まるごと録画の設定の初期化をおこなうと、これまでまるごと録画した番組がすべて消去されます。

まるごと録画番組を見る

まるごと録画機能で録画された番組を選んで、再生できます。

▶ 準備

- まるごと録画機能を設定しておく [P.32](#)

基本操作



1 まるごと録画一覧を押す

- 本機のまるごと録画機能で録画された番組がまるごと録画一覧で表示されます。

2 見たい番組を選んで 再生を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- スキップ スキップを押すと 録 → 表示時間数切換 で設定した時間に応じて、上下にページを切り換えます。
- 現在まるごと録画中の番組を最初から再生することもできます。

3 再生を終了するには 停止 または 戻るを押す

- 再生が停止し、まるごと録画一覧が表示されます。
- 他の操作によっても再生が終了する場合があります。

まるごと録画番組を見る(つづき)

まるごと録画一覧(全画面)の表示例

選択されている番組

保存実行待ちアイコン

保存済みアイコン

保存中アイコン

視聴済みアイコン

本機のまるごと録画設定で設定したチャンネルだけが表示されます。

録画番組がある時間帯だけが表示されます。

お知らせ

- 保存中の番組には 、保存実行待ちの番組には 、保存済み番組には が表示されます。(保存に関するアイコンを表示するスペースがない場合は、代わりに緑色の線 が表示されます。)
- 保存予約はすでにまるごと録画した番組の保存予約が50件、これからまるごと録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。
- 再生で視聴できる過去の番組は、まるごと録画機能で録画した番組に限られます。ただしまるごと録画した番組は、本体のまるごと録画用領域やまるごと録画用USB-HDDの容量が足りなくなると古い番組から自動的に消去されます。
- まるごと録画一覧から を押し、番組内容画面に自動消去アイコンが表示されます。アイコンと自動消去される日数の目安値は以下となります。
 - : 24時間以内に自動消去
 - : 3日以内に自動消去
 - : 7日以内に自動消去
 (上記の日数以内に自動消去されない予定の番組には、自動消去アイコンは表示されません。)
- まるごと録画一覧や再生画面、番組情報およびタイムバーなどは、放送波で送信されてくる番組情報をもとに表示されます。
- (視聴済みアイコン) は、まるごと録画した番組をしばらく視聴しないとまるごと録画一覧上に表示されません。
- コピーワンス(1回だけ録画可能)番組を保存中の場合は、その番組を再生できません。

レジュームポイントについて

- 再生中に または を1回押しして再生を停止すると、レジュームポイント(再生停止位置)が記憶されます。
- まるごと録画一覧の番組表示中に を押し、番組ごとのレジュームポイントから再生が始まります。

お知らせ

- 番組の終わりまで再生すると、記憶したレジュームポイントが解除されます。

まるごと録画番組の再生中にできるリモコン操作

リモコンで以下の再生操作ができます。



ボタン	動作
再生 	一時停止や早送り／早戻し、スロー再生／逆スロー再生から通常の再生に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> 再生中に繰り返し押しすと、約1.3倍の速さの音声付き早見再生※1と、約0.8倍の速さの音声付きゆっくり再生※1と、通常の再生が順番に切り換わります。
一時停止 	再生中に押しすと一時停止になります。 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中にもう一度押しすと、再生が再開されます。
停止 	まるごと録画一覧に戻ります。
早送り 	早送り再生をします。(押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しすとスロー再生(3段階)になります。
早戻し 	早戻し再生をします。(押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しすと逆スロー再生(2段階)になります。
スキップ 	再生中に押しすと10分先に進んで再生します。(番組の終わりへジャンプすると、まるごと録画一覧に戻ります。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しすとコマ送り再生をします。
スキップ 	再生中に押しすと10分前に戻って再生します。(番組の先頭から10分以内では、番組の頭出しをします。) <ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に押しすとコマ戻し再生をします。
	再生中に押しすと10秒ほど戻って再生します。
	再生中に押しすと30秒ほど先に進んで再生します。
画面表示 	番組情報やタイムバー※2を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> もう一度押しすと、画面表示を消すことができます。
字幕 	字幕(言語)を切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し押しして、お好みの字幕を選んでください。
音声切換 	音声(言語)を切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し押しして、お好みの音声を選んでください。
番組内容 	再生中に押しすと、番組内容を表示します。

- で一時停止している間に時間が経過して、自動消去機能によって再生中のまるごと録画番組が消去されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

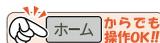
※1 録画番組によっては、約1.3倍速／約0.8倍速が正しく動作しないことがあります。

※2 停電などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。

まるごと録画番組を見る(つづき)

まとめ番組に切り換える

番組情報を元に、番組を分類して表示します。



1 まるごと録画一覧を押す

2 番組を選んで決定を押す

3 まとめ番組へを選んで決定を押す

- 選んだ番組が【まとめ番組】に分類されていない場合やまるごと録画中の番組は、【まとめ番組へ】が表示されません。
- 戻るを押すと、まるごと録画一覧に戻ります。



- ① 選択中のまとめ番組
- ② 番組名
- ③ 選択中のまとめ番組のページ数
- ④ 録画日時・録画時間
- ⑤ 現在の並び順
- ⑥ 保存可能時間の残量*
- ⑦ スクロールバー
- ⑧ 操作ガイド

緑を押すと、オプションメニューが開きます。

⑨ 自動消去／保存マーク

- 📅: 1週間以内に自動消去されるまるごと録画番組
- 📅: 3日間以内に自動消去されるまるごと録画番組
- 📅: 24時間以内に自動消去されるまるごと録画番組
- ✅: 保存済みの番組

⑩ 番組の状態

- NEW: 未再生の番組
- 🔒: 保護された番組

※ 【設定】→【まるごと録画設定】→【画質設定】で設定した画質で計算した残量を表示します。

▷ オプションメニューを使う

- はじめてから再生 / つづきから再生 : P.52
- 保存予約 : P.54
- 並び順 : P.52

まるごと録画一覧を便利に使う

日付を切り換える

- を押すと翌日のまるごと録画一覧に切り換えます。
- を押すと前日のまるごと録画一覧に切り換えます。

▷ 日付を指定して切り換える

- ① まるごと録画一覧を表示中に を押して、**日付選択**を選んで を押す
- ② お好みの日付を選んで を押す
 - ・ 選択した日付のまるごと録画一覧が表示されます。
 - ・  を押すと  → **表示時間数切換** で設定した時間に応じて、上下にページを切り換えます。

番組を検索する

録画した番組を検索することができます。

- ① まるごと録画一覧を表示中に を押して、**番組検索**を選んで を押す
- ② **検索方法**を選んで を押す
- ③ **フリーワード**、**ジャンル**、**出演者**、**カテゴリー**からお好みの検索方法を選んで を押す

▷ 【フリーワード】から検索する場合

- ④ **フリーワード**を選んで を押す
- ⑤ フリーワードを入力する



文字入力のしかた

P.69

- ・ 【検索方法】で【フリーワード】を選んだ状態で を押すと、フリーワードの新規登録や、登録済みのフリーワードの選択や編集ができます。
- ・ フリーワードは最大14個まで登録できます。

- ⑥ **日付**を選んで を押す
- ⑦ 検索する日付を選んで を押す
- ⑧ **検索開始**を選んで を押す

▷ 【ジャンル】、【出演者】、【カテゴリー】から検索する場合

- ④ **カテゴリー**、**ジャンル**または**出演者**の各項目を選んで を押す
- ⑤ 項目を選んで を押す
- ⑥ **日付**を選んで を押す
- ⑦ 検索する日付を選んで を押す
- ⑧ **検索開始**を選んで を押す

まるごと録画番組を見る(つづき)

表示するチャンネル数を切り換える

まるごと録画一覧で表示するチャンネル数を切り換えることができます。

- ① まるごと録画一覧を表示中に **緑** を押し、**表示チャンネル数切換** を選んで **決定** を押し
 - CH毎表示で表示している場合は、**黄** を押しして全CH表示に変更してから操作してください。
- ② お好みのチャンネル数を選んで **決定** を押し

表示を切り換える

以下の表示を切り換えることができます。

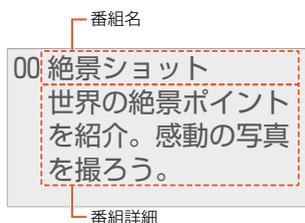
- 表示する時間帯の幅(表示時間数切換)
 - 文字の大きさ(文字サイズ切換)
- ① まるごと録画一覧を表示中に **緑** を押し、**表示時間数切換** または **文字サイズ切換** を選んで **決定** を押し
 - ② お好みの表示を選んで **決定** を押し

番組詳細の表示を切り換える

まるごと録画一覧で番組詳細を表示するかしないかを切り換えることができます。

- ① まるごと録画一覧を表示中に **緑** を押し、**番組詳細表示切換** を選んで **決定** を押し
- ② **表示する** または **表示しない** を選んで **決定** を押し

【表示する】： 番組名と番組詳細を表示する
 【表示しない】： 番組名のみを表示する



CH毎表示に切り換える

チャンネル別の表示に切り換えることができます。

- ① まるごと録画一覧を表示中に、表示したいチャンネルを選んで **黄** を押し
 - 全CH表示に戻すには、もう一度 **黄** を押します。

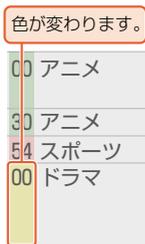
表示する日数を切り換える

CH毎表示で表示する日数を切り換えることができます。

- ① まるごと録画一覧を表示中に **黄** を押し、CH毎表示に切り換える
- ② **緑** を押し、**表示日数切換** を選んで **決定** を押し
- ③ お好みの日数を選んで **決定** を押し

番組のジャンルを色分けして表示する

- 番組をジャンル別に色分けすれば、見たい番組を探すのに便利です。
 - お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。
- ① まるごと録画一覧を表示中に  を押し、**ジャンル色分け** を選んで  を押す
 - ・ 色分け設定一覧が表示されます。
 - ② 表示する色を選んで  を押す
 - ③ 設定したいジャンル項目を選んで  を押す
 - ・ まるごと録画一覧に戻るには  を押ししてください。
 - ・ まるごと録画一覧に戻ると、設定したジャンルと一致する番組の番組欄が色分けして表示されます。



- ▷ 他の色を続けて設定するときは
手順②～③を繰り返す

お知らせ

- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合は、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

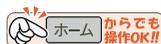
保存予約一覧を見る

まるごと録画した番組の保存予約の一覧を見ることができます。まるごと録画番組の保存予約についてくわしくは [P.44](#) をご覧ください。

- ① まるごと録画一覧を表示中に  を押す
 - ・  → **保存予約一覧** を選んで  を押して操作することもできます。

まるごと録画番組を保存する

- まるごと録画一覧から保存予約したい番組を選んで、お好みの設定で保存予約できます。
- まるごと録画番組を本体またはUSB-HDDに保存できます。
(すでにまるごと録画番組を保存中の場合は、保存予約できます。)
- 保存した番組は、おすすめ再生から再生 [P.49](#) ができるようになります。



一発保存する(周期を設定せず保存する)

1 まるごと録画一覧を押す

▷ まるごと録画番組を検索する

保存したい番組を検索できます。

「番組を検索する」[P.39](#) 手順①～④をおこなったあと、手順2に進んでください。

2 保存する番組を選んで 停止を押す

- 保存設定が下記に固定された状態で保存できます。
周期保存(毎週/月～金など)：この番組のみ保存
- まとめ番組 [P.38](#) から保存できます。
- 保存できるのは本機でまるごと録画した番組だけです。

お知らせ

- おすすめ再生から一発保存することもできます。くわしくは [P.54](#) をご覧ください。

お好みの周期で保存する

1 まるごと録画一覧を押す

▷ まるごと録画番組を検索する

保存したい番組を検索できます。

「番組を検索する」[P.39](#) 手順①～④をおこなったあと、手順2に進んでください。

2 保存する番組を選んで 決定を押す

3 保存するを選んで 決定を押す

- 保存できるのは本機でまるごと録画した番組だけです。

4 お好みの周期を▲▼で選んで^{決定}を押す

- 日曜日以外に放送される番組を周期予約する場合は **月～土** を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を周期予約する場合は **火～土** をおすすめします。
- 保存済みの番組を選んだ場合は、**この番組のみ保存** は表示されません。

5 確認画面が表示されるので、**保存開始**を選んで^{決定}を押す

- すでに他の番組を保存中の場合は、保存予約になります。**保存予約**を選んで^{決定}を押してください。
- 番組の保存が始まり、番組に  (保存中アイコン)が表示されます。
- 保存した番組には、 (保存済みアイコン)が表示されます。

▷ 保存予約の場合は

- 保存予約した番組は、実行中の保存が終了したあとに保存が始まります。
 - 保存予約した番組には、 (保存実行待ちアイコン)が表示されます。

▷ 保存予約を停止するには

保存予約を停止したい番組を選んで^{決定}→**保存予約消去**を選んで^{決定}を押す(またはのついた番組を選んでください。)

- 確認画面が表示されるので、**はい**を選んで^{決定}を押してください。保存が停止します。
- 他の保存予約を続けて停止したいときは、この手順を繰り返します。
- すでに保存が完了している場合は、停止できません。

お知らせ

- すでにまるごと録画した番組の保存予約が50件、これからまるごと録画する予定の番組の保存予約が50件まで登録できます。
- 最大23時間のまるごと録画番組を、本体やUSB-HDDへ保存できます。本体・USB-HDDそれぞれ2000番組まで保存できます。
- 以下のまるごと録画番組は、保存できません。
 - まるごと録画中の番組(ただし、事前に保存予約しておけば、番組終了後保存されます。)
 - すでに保存されたまるごと録画番組

ご注意

- 以下の場合、保存できません。
 - メンテナンス時間中
 - 保存するメディアの容量が足りない
 - 保存するメディアの番組数がいっぱいになっている
- コピーワンス(1回だけ録画可能)番組を保存すると、まるごと録画一覧から消去されます。
- 保存予約された番組は、登録した順に保存を実行するため、番組の自動消去などにより保存ができない場合があります。
- まるごと録画していたチャンネルの番組がイベントリレーした場合は、その番組の保存予約は正常におこなわれません。

まるごと録画番組を保存する(つづき)

保存予約一覧を見る

まるごと録画番組を保存するために予約登録した番組の一覧を表示します。



1 まるごと録画一覧を押す

2 一時停止を押す

すでにまるごと録画されている保存実行待ちの番組



これからまるごと録画する予定の番組

- **まるごと録画予約** → **録** → **保存予約一覧** を選んで **決定** を押して表示することもできます。
- 【予約結果のお知らせ】フォルダーについてくわしくは **P.46** をご覧ください。

▷ 保存予約を消去するときは

① ▲・▼で消去したい保存予約を選んで **黄** を押す

- **録** → **保存予約消去** → 消去したい保存予約を選んで **決定** を押して操作することもできます。
- 選んだ保存予約に **○** が付きます。
- 保存予約を複数消去する場合は、**▲・▼** → **決定** で消去したい予約をすべて選んでください。
- **録** を押すとすべての保存予約を選ぶことができます。
- **黄** を押すとすべての保存予約の選択を解除できます。

② **赤** を押す

- **消去実行** へ移動して、**決定** を押して消去することもできます。
- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**戻る** を1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

▷ 保存予約順を変更するときは

保存予約は、保存予約一覧の上から順番に実行されます。以下の手順で保存実行の順番を変更できます。

① **録** を押して、**保存実行順変更** を選んで **決定** を押す

② 順番を変更したい保存予約中の番組を選んで **決定** を押す

- 保存中またはこれからまるごと録画する予定の番組は選ぶことができません。

③ **変更先** を選んで **決定** を押す

- 保存予約の順番が変更されます。
- 変更が終わったら、**戻る** を1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

まるごと録画全般

- まるごと録画中は電源プラグを抜き挿ししないでください。
- アンテナケーブルを抜き挿ししないでください。
- まるごと録画用USB-HDDを登録しているときは、USBケーブルを抜き挿ししないでください。
- 【まるごと録画設定】を変更すると、これまでまるごと録画された番組が消去されることがあります。
- まるごと録画はまるごと録画用領域の容量が少なくなると、古い番組から自動的に消去されます。残したい番組は、保存することをおすすめします。保存のしかたについて、くわしくは [P.42](#) をご覧ください。
- 【メンテナンス時間】の時間帯は、まるごと録画されません。
- 【録画チャンネル】に設定したチャンネル数によって、同時録画できる番組数が変わります。

お知らせ

- まるごと録画する番組の情報量によって、実際に視聴できる時間は異なります。
- まるごと録画番組はまるごと録画用領域の容量が少なくなると、番組の情報量によって自動的に消去されるため、右記のようにチャンネルごとに視聴可能な日数や時間が異なります。



まるごと録画していくと…



新しくまるごと録画された番組

まるごと録画についての補足説明(つづき)

停電があったときは

- 停電中はまるごと録画されません。
- 停電から復帰すると、自動的に電源がオンになって復帰処理をおこない、復帰処理終了後は電源がオフ(待機)になります。
- まるごと録画機能が有効になっている時間帯は、復帰処理終了後にまるごと録画を再開します。(LED(白色)が点灯)
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が消去されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、「すべての初期化」[P.77](#)が必要となることがあります。

番組保存が正常におこなわれなかったときは

- 停電などの要因で保存が正常におこなわれなかった保存予約は、【予約結果のお知らせ】フォルダーにまとめられます。保存予約一覧で、【予約結果のお知らせ】フォルダー内の番組を選んで \odot を押すとお知らせ内容が表示されます。【戻る】を選ぶと、そのまま「予約結果のお知らせ」画面に戻り、【お知らせ消去】を選ぶと予約結果のお知らせが一覧から消去されます。
- 複数の予約結果のお知らせを消去するには、【予約結果のお知らせ】フォルダーで \square を押してから消去したい番組を選んで \odot を押します。選んだ番組に \odot が付くので、消去したい予約結果のお知らせがすべて選ばれているか確認し、 \blacktriangleright で【消去実行】を選んで \odot を押します。確認画面が表示されるので【はい】を選んで \odot を押してください。(保存予約一覧の表示方法については、「保存予約一覧を見る」[P.44](#)をご覧ください。)
- 【予約結果のお知らせ】フォルダーにまとめられる番組は、最大30件です。30件をこえた場合は、古い番組から順に消去されます。

まるごと録画の視聴可能日数一覧表

【録画チャンネル】を6チャンネルに設定し、【録画時間帯】が最大設定の23時間と初期設定の【おすすめ】(10時間)の場合、視聴できる日数の目安は以下の通りです。(視聴可能日数は、各チャンネルごとの日数です)

- 本体のまるごと録画用領域の容量は1.6TBです。
- USB-HDDを接続して、視聴可能日数を増やすこともできます。USB-HDDの容量によって視聴できる日数が異なります。

すべて(23時間)の場合

まるごと録画用領域		本体のみ	USB-HDD 1TB 接続時	USB-HDD 1.5TB 接続時	USB-HDD 2TB 接続時
画質設定	高画質	約 3.0日	約 5.0日	約 6.0日	約 7.0日
	中画質	約 4.0日	約 6.5日	約 8.0日	約 9.5日
	低画質	約 6.0日	約 10.0日	約 12.0日	約 14.0日
	長時間画質	約 7.0日	約 11.5日	約 13.5日	約 16.0日

まるごと録画用領域		USB-HDD 3TB 接続時	USB-HDD 4TB 接続時	USB-HDD 5TB 接続時	USB-HDD 6TB 接続時
画質設定	高画質	約 9.0日	約 11.0日	約 13.0日	約 15.0日
	中画質	約 12.0日	約 14.5日	約 17.5日	約 20.0日
	低画質	約 18.0日	約 22.0日	約 26.0日	約 30.0日
	長時間画質	約 20.5日	約 25.0日	約 29.5日	約 34.0日

おすすめ(10時間)の場合

画質設定	まるごと録画用領域	本体のみ	USB-HDD 1TB 接続時	USB-HDD 1.5TB 接続時	USB-HDD 2TB 接続時
HD画質	高画質	約 7.0日	約 11.5日	約 14.0日	約 16.0日
	中画質	約 9.5日	約 15.5日	約 18.5日	約 21.5日
	低画質	約 14.5日	約 23.5日	約 28.0日	約 32.5日
	長時間画質	約 16.0日	約 26.5日	約 31.5日	約 37.0日

画質設定	まるごと録画用領域	USB-HDD 3TB 接続時	USB-HDD 4TB 接続時	USB-HDD 5TB 接続時	USB-HDD 6TB 接続時
HD画質	高画質	約 21.0日	約 25.5日	約 30.0日	約 34.5日
	中画質	約 28.0日	約 34.0日	約 40.0日	約 46.5日
	低画質	約 42.0日	約 51.0日	約 60.0日	約 69.5日
	長時間画質	約 47.5日	約 57.5日	約 68.0日	約 78.5日



ご注意

- 同じ容量でも、ご使用のUSB-HDDによって視聴できる日数が異なります。

まるごと録画についての補足説明(つづき)

保存時間一覧表

保存時間はおよその目安です。また、保存する映像によって保存容量が異なるため、実際に保存できる時間は異なります。

- メディアの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。
- 番組によってビットレートが異なるため、番組により保存可能時間が変わります。
- 本機は、効率よく録画をおこなうためにVBR(可変ビットレート)方式で録画をおこなっており、映像によって保存できる時間が変わります。
- 本体の番組保存用領域の容量は400GBです。
- USB-HDDを接続して、保存可能時間を増やすこともできます。USB-HDDの容量によって保存できる時間が異なります。

画質設定	番組保存用領域	本体のみ	USB-HDD 1TB 接続時	USB-HDD 1.5TB 接続時	USB-HDD 2TB 接続時
HD画質	高画質	約 109時間 36分	約 385時間 52分	約 524時間 22分	約 662時間 51分
	中画質	約 145時間 59分	約 513時間 56分	約 698時間 23分	約 882時間 48分
	低画質	約 218時間 29分	約 769時間 9分	約1,045時間 9分	約 1,321時間 12分
	長時間画質	約 247時間 43分	約 872時間 5分	約 1,185時間 3分	約 1,498時間 0分

画質設定	番組保存用領域	USB-HDD 3TB 接続時	USB-HDD 4TB 接続時	USB-HDD 5TB 接続時	USB-HDD 6TB 接続時
HD画質	高画質	約 939時間 50分	約 1,216時間 49分	約 1,493時間 48分	約 1,770時間 47分
	中画質	約 1,251時間 42分	約 1,620時間 35分	約 1,989時間 29分	約 2,358時間 22分
	低画質	約 1,873時間 16分	約 2,425時間 19分	約 2,977時間 25分	約 3,529時間 29分
	長時間画質	約 2,123時間 57分	約 2,749時間 57分	約 3,375時間 53分	約 4,001時間 50分



- 同じ容量でも、ご使用のUSB-HDDによって保存できる時間が異なります。

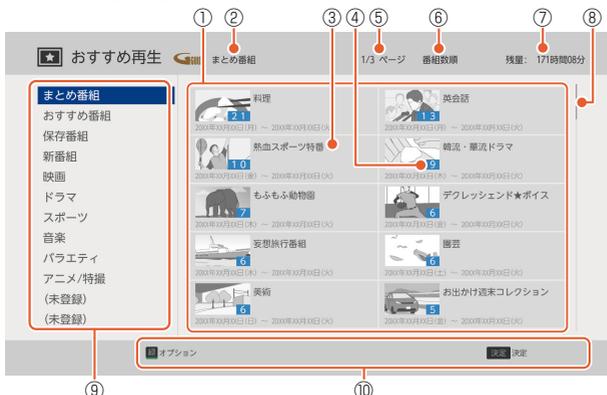
おすすめ再生をする

おすすめ再生とは、お好みの番組をまるごと録画または番組保存した番組の中からかんたんに探し出し、まとめて再生する機能のことです。番組終了まで再生した場合は、自動的に次の番組を再生してくれるので、連続ドラマなどのシリーズ番組を一気に見るときにも便利です。

おすすめ再生について

おすすめ再生の見かた

▶ まとめ番組の場合



- ① まとめ番組とサムネイルの一覧
- ② 選択中の分類項目
- ③ まとめ番組名
- ④ まとめられた番組数
- ⑤ まとめ番組一覧のページ数
- ⑥ 現在の並び順
- ⑦ 保存可能時間の残量※
- ⑧ スクロールバー
- ⑨ おすすめ再生の分類項目
- ⑩ 操作ガイド
緑を押すと、オプションメニューが開きます。

※【設定】→【まるごと録画設定】→【画質設定】で設定した画質で計算した残量を表示します。

▶ まとめ番組以外の場合



- ① おすすめ再生の分類項目
- ② 選択中の分類項目
- ③ 番組名
- ④ 選択中の分類項目の番組とサムネイルの一覧
- ⑤ 選択中の分類項目の番組一覧のページ数
- ⑥ 録画日時・録画時間
- ⑦ 現在の並び順
- ⑧ 保存可能時間の残量※
- ⑨ スクロールバー
- ⑩ 操作ガイド
緑を押すと、オプションメニューが開きます。

⑪ 自動消去／保存マーク

- 1週間以内に自動消去されるまるごと録画番組
- 3日以内に自動消去されるまるごと録画番組
- 24時間以内に自動消去されるまるごと録画番組
- 保存済みの番組

⑫ 番組の状態

- 未再生の番組
- 保護された番組

※【設定】→【まるごと録画設定】→【画質設定】で設定した画質で計算した残量を表示します。



ご注意

- まるごと録画実行中の番組は表示されません。
- 【まとめ番組】、【おすすめ番組】、【保存番組】、【新番組】以外の場合は、以下の操作ができます。
 - を押すと、分類条件を「フリーワード」、「ジャンル」、「出演者」、「カテゴリー」に切り換えます。
 - を押すと、分類消去(項目ごと消去)ができます。

おすすめ再生をする(つづき)

おすすめ再生で再生する



1 **おすすめ再生** を押す

2 おすすめ再生の分類項目を選んで **決定** を押す

3 お好きな番組を選んで **決定** を押す

- 番組の再生が始まります。
- 番組の再生を停止するときは **停止** または **戻る** を押します。
 - ・ 再生が停止し、おすすめ再生が表示されます。

まとめ番組を表示する



1 **おすすめ再生** を押す

2 **まとめ番組** を選んで **決定** を押す

- 番組情報を元に、録画した番組を分類して表示します。

おすすめ番組を表示する



1 **おすすめ再生** を押す

2 **おすすめ番組** を選んで **決定** を押す

- 録画した番組の中から、おすすめの番組を表示します。

保存番組を表示する



1 **おすすめ再生** を押す

2 **保存番組** を選んで **決定** を押す

- 保存した番組を表示します。

新番組を表示する



1 **おすすめ再生**を押す

2 **新番組**を選んで**決定**を押す

- 録画した番組のうち、新番組が表示されます。
(例：番組名に新を含む番組など)

番組の詳細内容を確認する



1 **おすすめ再生**を押す

2 確認したい番組を選んで**番組内容**を押す

- 表示を消すには、**番組内容**または**戻る**を押してください。

▶ 番組についてのアイコン一覧

	番組の映像信号情報 (上：画面の縦横比／下：信号方式)
	モノラル音声／ステレオ音声
	主+副音声／マルチチャンネル音声
	字幕有り

お知らせ

- 番組を再生しているときに**番組内容**を押すと、再生している番組の詳細内容を確認できます。

おすすめ再生をする(つづき)

おすすめ再生を便利に使う

番組のはじめから／つづきから再生する

- ① 再生したい番組を選んで **緑** を押す
- ② **はじめから再生** または **つづきから再生** を選んで **決定** を押す

並び順を変更する

- ① お好みの分類項目または番組を選んで **緑** を押す
 - ② **並び順** を選んで **決定** を押す
 - 並び順の種類が表示されるので、お好みの並び順を選んで **決定** を押してください。
 - 現在録画中の番組は並び順の最後に表示されます。
 - 新しい順**：録画日が新しい順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最後に配置されます。)
 - 古い順**：録画日が古い順に並び替わります。(録画日が記録されていない場合は、並び順の最初に配置されます。)
 - 番組名順**：番組名順に並び替わります。
- ▶ **まとめ番組** **P.49** の場合
- 番組名順**：番組名順に並び替わります。
 - 番組数順**：まとめられた番組数順に並び替わります。

番組一覧のページを指定して移動する

- ① お好みの番組を選んで **緑** を押す
- ② **ページ指定ジャンプ** を選んで **決定** を押す
- ③ ▲・▼でお好みのページ数を選んで **決定** を押す

分類項目を変更／新規登録する

- ① 変更したい分類項目を選んで **青** を押す
 新たな分類項目を登録する場合は、**(未登録)** を選んで **青** を押す
 - **緑** → **分類変更** を選んで **決定** を押して操作することもできます。
 - 【まとめ番組】、【おすすめ番組】、【新番組】、【保存番組】は分類条件を変更できませんが、その他の項目は変更できます。
- ② 分類条件を選んで **決定** を押す
 - フリーワード**：文字入力画面が表示されます。お好みのフリーワードを入力してください。スペースをはさんで、複数のフリーワードを設定することもできます。(例：ヨーロッパ 鉄道旅行)
 - ジャンル**：ジャンルの一覧が表示されます。一覧からジャンル項目を選んでください。
 - 出演者**：出演者の一覧が表示されます。左側の一覧から頭文字を選んだあと、右側の一覧から出演者名を選んでください。
 - カテゴリ**：カテゴリの一覧が表示されます。左側の一覧からカテゴリを選んだあと、右側の一覧からサブカテゴリを選んでください。
 - 文字の入力方法については、 **文字入力のしかた** **P.69** をご覧ください。

ご注意

- おすすめ再生の分類項目に合致した番組がない場合は、【該当する番組はありません】と表示されます。お買い上げ直後などの録画番組が少ないときは、番組が表示されません。

分類項目を消去する

- ① 消去したい分類項目を選んで  を押す
 -  → **分類消去** を選んで  を押して操作することもできます。
 - 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで  を押してください。
 - 選択した分類項目が消去されます。

分類項目の表示順を変更する

- ① お好みの分類項目を選んで  を押す
- ② **分類表示順変更** を選んで  を押す
- ② 移動したい分類を選んで  を押す
- ③ ▲・▼で移動先を選んで  を押す
 - 分類が移動されます。
 - 移動が終わったら、 を押してください。

お知らせ

- 【まとめ番組】は移動できません。

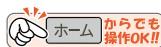
分類設定を初期化する

分類設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- ① お好みの分類項目を選んで  を押す
- ② **分類設定初期化** を選んで  を押す
 - 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで  を押してください。

おすすめ再生から番組を保存／消去／保護する

まるごと録画番組を一発保存する

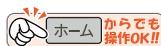


1 **おすすめ再生** を押す

2 保存したいまるごと録画番組を選んで **停止** を押す

- 保存マーク **✓** が表示されている番組は保存済みです。それ以外の番組を選んでください。
- 保存設定が下記に固定された状態で保存できます。
周期保存(毎週／月～金など)：この番組のみ保存
- 保存できるのは本機でまるごと録画した番組だけです。

まるごと録画番組をお好みの周期で保存する



1 **おすすめ再生** を押す

2 保存したいまるごと録画番組を選んで **緑** → **保存予約** を選んで **決定** を押す

- 保存マーク **✓** が表示されている番組は保存済みです。それ以外の番組を選んでください。
- 保存できるのは本機でまるごと録画した番組だけです。

3 お好みの周期を **▲・▼** で選んで **決定** を押す

- 保存マーク **✓** が表示されている番組は保存済みです。それ以外の番組を選んでください。
- 日曜日以外に放送される番組を周期予約する場合は **月～土** を、月曜から金曜の深夜番組(日付が変更してから放送される番組)を周期予約する場合は **火～土** をおすすめします。

保存番組を消去する



- 消去された番組は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから消去してください。

1 **おすすめ再生** を押す

2 ▲▼◀▶で消去したい保存番組を選んで **黄** を押す

- **緑** → **番組消去** を選んで **決定** を押して操作することもできます。
- 保存マーク **✓** が表示されている番組から選んでください。
- 番組を複数消去する場合は、**▲▼◀▶** → **決定** で消去したい番組をすべて選んでください。
- 選んだ番組に **○** が付きます。
- **緑** を押すと、すべての番組に **○** が付きます。
- **黄** を押すと、**○** がすべて解除されます。



番組保存用USB-HDDを登録している場合は、メディアごとの残量を表示します*。

: 本体に保存した番組

: USB-HDDに保存した番組

※ **【設定】** → **【まるごと録画設定】** → **【画質設定】** で設定した画質で計算した残量を表示します。

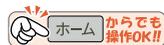
3 番組を選び終わったら、**赤** を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。選択した番組が一括消去されます。

ご注意

- まるごと録画の番組は上記の方法で消去できませんが、まるごと録画用領域の容量が少なくなると、古い番組から自動的に消去されます。P.45
- まるごと録画番組の保存中は、保存番組を消去できません。

保存番組を保護する



1 **おすすめの再生** を押す

2 保護したい保存番組を選んで **緑** を押す

- **保存番組** 内の番組または保存マーク **✓** が表示されている番組から選んでください。

3 **番組保護** を選んで **決定** を押す

- 保護された保存番組には、おすすめ再生画面で **🔒** が付きます。

▶ 番組保護を解除するときは
手順2で **番組保護解除** を選ぶ

ご注意

- 保護された保存番組は、消去できません。

再生するときの操作

再生中に番組内容を見る

番組内容
を押す

- 番組内容が表示されます。

再生を一時停止する

一時停止
 または を押す

- 再生が一時停止します。
- 、 または を押すと再生に戻ります。

再生を停止する

停止
 または を押す

- 再生が停止し、おすすめ再生画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)

速度を変えて再生する

早戻し／早送り(早く見る／聞く)

再生中に ・を押す

- 押すたびに再生速度を4段階で切り換えます。
- 1段階目の早送りのみ、音声付きで約1.6倍速で再生することができます。ゆっくりと番組を視聴する時間がないときに便利です。
- を押すと通常の再生速度に戻ります。

早見／ゆっくり再生(音声付きで早く／ゆっくり見る)

再生中に を押す

- 押すたびに通常再生→約1.3倍速→約0.8倍速と切り換わります。

逆スロー／スロー再生(ゆっくり見る)

再生一時停止中に    を押す

- 押すたびに再生速度を切り換えます。
 - 逆スロー再生：2段階
 - スロー再生：3段階
-  を押すと通常再生に、 を押すと再生一時停止に戻ります。
- 長押しすると早戻し／早送り動作となります。

コマ戻し／コマ送り(コマを戻す／進める)

再生一時停止中に    を押す

- 押すたびにコマが戻り／進みます。

スキップ・頭出し(見たい番組や場面までとばす)

スキップ(見たいところまでスキップ・頭出しする)

保存番組の再生中に    を押す

- 押すたびに、前または次のチャプターにスキップ・頭出しします。 を1回だけ押すと、現在再生中のチャプターの最初に戻ります。
-  を押して番組の終わりへスキップすると、次の番組に切り換わります。



- まるごと録画番組の再生中に    を押すと、10分前／10分先にジャンプします。

10秒戻し／30秒スキップ

再生中に   を押す

- 押すたびに、10秒前／30秒後に再生がスキップします。

再生するときに便利な機能

音声(言語)や字幕(言語)を切り換える

音声(言語)を切り換える

複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語・音声フォーマットが収録されている番組の再生中に、再生したい音声を選ぶことができます。

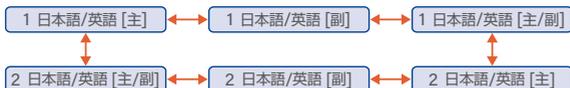
1 再生中に を押す

2 ▲・▼でお好みの音声を選ぶ

-  を押して切り換えることもできます。
- 選択している音声サラウンド音声の場合は、次のように切り換わります。



- 選択している音声二重音声の場合は、次のように切り換わります。



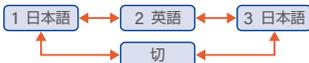
字幕(言語)を切り換える

1つ以上の字幕言語が収録されている番組の再生中に、字幕の言語や字幕表示の入/切を選ぶことができます。

1 再生中に を押す

2 ▲・▼でお好みの字幕を選ぶ

-  を押して切り換えることもできます。



- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

ご注意

- 以下の場合は音声や字幕を切り換えることはできません。
 - 早戻し/早送り
 - 早見/ゆっくり再生
 - 一時停止
 - 逆スロー/スロー再生

再生についての補足説明

再生全般

- 再生開始時に映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズ(四角いノイズ)が見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマとびして再生されないことがあります。

つづき再生

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声／字幕の切り換え

▷ 音声／字幕

- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 字幕設定を変更したときは切り換わるまで多少時間がかかることがあります。

USB-HDDを接続・設定する

USB-HDDってどんな機器？

内蔵ハードディスクと同じように、受信した番組を録画したり再生したりすることができます。USB-HDDをご使用になる場合は、以下をお読みになり十分ご理解いただいた上でご使用ください。

▶ USB-HDDで使える機能

- 登録したUSB-HDDは、内蔵ハードディスクと同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

ご注意

- 本機への登録を解除したUSB-HDDは録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDをもう一度本機に登録する場合も、本機専用方式で初期化しますので番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

USB-HDDをつなぐ前に

- 本機には、内蔵ハードディスクが搭載されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- 本機に接続して番組の録画／再生が可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。また、USBケーブルはUSB-HDDに付属のケーブルをご使用ください。
- バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型をご使用ください。
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続して登録や初期化すると、本機専用の方式で初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していたUSB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USB-HDDの動作中は、本機やUSB-HDDの電源をオフにしたり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機および内蔵ハードディスクまたはUSB-HDDが故障したりする原因となります。
- USB-HDDを接続する本機背面の番組保存用USB端子またはまるごと録画用USB端子は、USB2.0準拠です。
- 本機とセルフパワー型のUSB-HDDを接続するときは、本機の電源を必ずオフ(待機)にし、本機前面のLEDが消灯していることを確認してから、USB-HDDの電源も必ずオフにしてください。
- 本機に登録したUSB-HDDに保存または録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の当社製品(同じ型番のレコーダーも含む)やパソコンなどに接続しても再生できません。
- 本機では、SeeQVault-HDDをSeeQVault用として登録することはできません。また、他機でSeeQVault-HDDに保存した番組を本機で再生することはできません。
- USB-HDDに付属の取扱説明書をご覧ください。

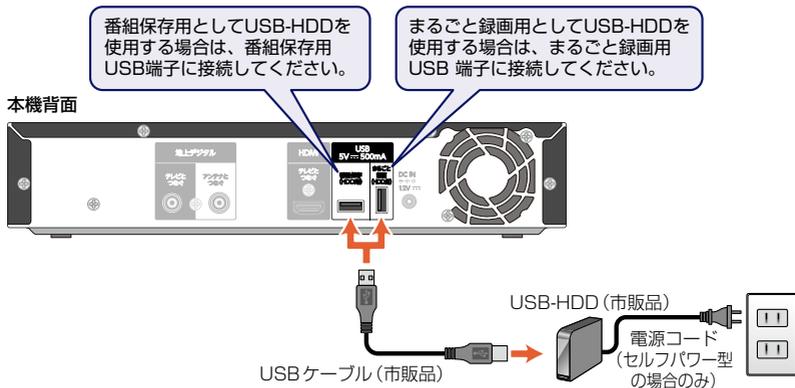
ご注意

- USB-HDDは、番組保存用／まるごと録画用それぞれ1台ずつ本機に登録できます。(本機ではUSBハブは使用できません。)

USB-HDDをつなぐ

USB-HDDをつなぐ

- USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源をオンにしてください。



▷ USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを番組保存用またはまるごと録画用として登録してください。(本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。)
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されますので、【番組保存用に設定】または【まるごと録画用に設定】を選んで **決定** を押してください。そのあと、「USB-HDDを番組保存用として登録する」または「USB-HDDをまるごと録画用として登録する」 **P.62** の手順 **3** に進んでください。

▷ セルフパワー型のUSB-HDDを取りはずすには

- セルフパワー型のUSB-HDDを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源をオフ(待機)にしてからUSB-HDDの電源をオフにして取りはずしてください。

お知らせ

- 本機背面のUSB端子に、タブレットなどの本機で利用できない(または対応していない)USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 登録可能なUSB-HDDを接続しても登録設定の確認画面が表示されなかった場合は、**ホーム** → **【設定】** → **【本体設定】** → **【USB-HDD管理】** から **【番組保存用USB-HDD登録】** または **【まるごと録画用USB-HDD登録】** を選んで登録してください。

USB-HDDを接続・設定する(つづき)

USB-HDDを番組保存用として登録する

本機背面の番組保存用USB端子に接続したUSB-HDDを番組保存用として登録します。USB-HDDを登録することで、保存可能時間を増やすことができます。

1 **ホーム** を押して、**設定** → **本体設定** → **USB-HDD管理** → **番組保存用USB-HDD登録** を選んで **決定** を押す

2 **未登録** と表示されている行を選んで **決定** を押す

3 **USB-HDDを本機に登録する** を選んで **決定** を押す
 ● 確認画面が2回表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。

▶ 登録を解除するときは

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

① 手順1のあと、**USB-HDDの登録を解除する** を選んで **決定** を押す

- 確認画面が2回表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

USB-HDDをまるごと録画用として登録する

本機背面のまるごと録画用USB端子に接続したUSB-HDDをまるごと録画用として登録します。USB-HDDを登録することで、まるごと録画番組の視聴可能日数を増やすことができます。まるごと録画中の場合は、まるごと録画機能を無効にしてください。くわしくは「まるごと録画機能を設定する」P.32をご覧ください。

1 **ホーム** を押して、**設定** → **本体設定** → **USB-HDD管理** → **まるごと録画用USB-HDD登録** を選んで **決定** を押す

2 **未登録** と表示されている行を選んで **決定** を押す

3 **USB-HDDを本機に登録する** を選んで **決定** を押す
 ● 確認画面が2回表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。

▶ 登録を解除するときは

USB-HDDの登録を解除すると、本機で記録した内容はすべて認識できなくなります。認識できなくなっても問題ないデータであることを確認してから登録を解除してください。

① 手順1のあと、**USB-HDDの登録を解除する** を選んで **決定** を押す

- 確認画面が2回表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

ご注意

- 登録したUSB-HDDは正しく接続してください。認識できない場合は、まるごと録画ができません。また、登録したUSB-HDDを使用しなくなった場合は、必ず登録を解除してください。

機器制御機能について

機器制御機能ってどんな機能？

機器制御機能とは、HDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能で、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器間をHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

【機器制御】を【入(利用する)】にすると、以下のような連動動作ができます。
(操作の手間が省けて便利です。)

- 本機の電源がオフ(待機)のときに **電源**、**ホーム**、**おすの再生**、**まるごと録画一覧**を押すと、本機の電源がオンになり、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。
- 本機で再生中にテレビのチャンネルを変更すると、再生は自動的に停止状態になります。ただし、再生が自動的に停止しない場合もあります。
- テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源もオフ(待機)になります。ただし、本機が起動処理中の場合は、本機の電源はオフ(待機)になりません。
- 本機の電源がオンのときに下図リモコンのイラストボタンを押すと、テレビが自動的に本機の接続されているHDMI入力に切り換わります。



機器制御機能について(つづき)

▷ 当社製テレビのHDMI機器連動対応シリーズについて

対応機種については、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。

- 他社製のHDMI-CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合もありますが、当社製テレビの【HDMI機器連動】対応シリーズ以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは【機器制御】を【切(利用しない)】にしてください。くわしくは [P.74](#) をご覧ください。

お知らせ

- 【機器制御】は当社製のテレビでは【HDMI機器連動】と呼んでいます。

機器制御機能を設定する

機器制御機能は、お買い上げ時は【入】に設定されています。

▶ 準備

- 本機と【HDMI機器連動】に対応した当社製のテレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく [P.17](#)
- 当社製のテレビ側で【HDMI機器連動】の設定をしておく(くわしくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。)

- ① ホーム → **設定** → **本体設定** を選んで **決定** を押す
- ② **HDMI接続設定** → **機器制御** を選んで **決定** を押す
- ③ お好みの項目を選んで **決定** を押す

自己診断機能について

本機の主な機能の動作確認は、【自己診断機能】メニューで確認することができます。

自己診断機能を使う

1 **ホーム** を押して、**設定** を選んで **決定** を押す

2 **自己診断機能** を選んで **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。
- 自己診断機能の項目選択画面に進みます。



- 以下の場合、自己診断機能は使用できません。
 - まるごと録画機能を【有効】に設定しているとき
 - まるごと録画番組の保存中

自己診断機能の項目と診断内容

本機の主な機能の診断をすることができます。

本体診断

3 **本体** を選んで **決定** を押す

4 **確認したい診断項目** を選んで **決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**はい** を選んで **決定** を押してください。
- 診断後、【結果】に【詳細を確認してください。】と表示された【項目】を確認する場合は、【項目】を選んで **戻る** を押すと表示される詳細画面で【結果】と【対処方法】をご確認ください。
- **戻る** を押すと前の画面に戻ります。
- 診断が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

▷ 全機能診断

- 【本体】画面に表示されている【項目】すべての診断をおこないます。
- 診断が終わるまでしばらく時間がかかることがあります。(最大約12分)

▷ HDD

本機に内蔵されているハードディスクの診断をおこないます。

▷ チューナー(地デジ)

地上デジタル用チューナーの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機の地上デジタル入力端子と、壁などのアンテナ端子をアンテナケーブルでつないでおく [P.17](#)
- 本機とアンテナが正しく接続されていない場合は、正しく診断することができません。

自己診断機能について(つづき)

▷ HDMI-CEC

HDMI-CECの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機とHDMI-CEC対応テレビをハイスピード対応HDMIケーブルでつないでおく [P.17](#)
- **【本体設定】→【HDMI接続設定】→【機器制御】を【入(利用する)】に設定しておく** [P.64](#)

■ 以下の場合は、正しく診断することができません。

- テレビがHDMI-CECに対応していない場合
- 本機とテレビがHDMIケーブルで接続されていない場合
- テレビ側のHDMI-CEC設定が有効になっていない場合



- HDMIケーブルは付属しておりません。市販品のHDMIケーブルをご準備ください。

▷ USB-HDD(番組保存用)

番組保存用USB-HDDの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機背面の番組保存用USB端子にUSB-HDDをつないでおき、本機に登録しておく [P.61](#)、[P.62](#)

■ 本機とUSB-HDDが接続されていない場合は、正しく診断することができません。また、USB-HDDが本機に登録されていない場合は、そのまま診断をおこなうと【結果】に【詳細を確認してください。】と表示されます。その結果が表示された【USB-HDD(番組保存用)】を選んだまま **■** を押して、詳細画面で **■** を押すと仮登録をおこない、診断のみおこなうことができます。(仮登録をおこなうと、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。)

▷ USB-HDD(まるごと録画用)

まるごと録画用USB-HDDの診断をおこないます。

▶ 準備

- 本機背面のまるごと録画用USB端子にUSB-HDDをつないでおき、本機に登録しておく [P.61](#)、[P.62](#)

■ 本機とUSB-HDDが接続されていない場合は、正しく診断することができません。また、USB-HDDが本機に登録されていない場合は、そのまま診断をおこなうと【結果】に【詳細を確認してください。】と表示されます。その結果が表示された【USB-HDD(まるごと録画用)】を選んだまま **■** を押して、詳細画面で **■** を押すと仮登録をおこない、診断のみおこなうことができます。(仮登録をおこなうと、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。)

放送チャンネル

現在の地上デジタル放送の受信チャンネル状況を表示します。

3 放送チャンネルを選んで^{決定}を押す

- スキャン完了後、チャンネル情報が検出されます。
- **アンテナレベル**が低いチャンネルなど、個別に受信状態を確認したい場合は、チャンネルを選んで^{決定}を押すと、受信状態の確認画面が表示されます。(アンテナの調整について詳しくは [P.27](#) をご覧ください。)
- **戻る**を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、**戻る**を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

USB-HDD(番組保存用)

番組保存用USB-HDDの診断をおこないます。

▶準備

- 本機背面の番組保存用USB端子にUSB-HDDをつなぎ、本機に登録しておく [P.61](#)、[P.62](#)

3 USB-HDD(番組保存用)を選んで^{決定}を押す

4 開始が選ばれているので^{決定}を押す

- 読み込み完了後、USB-HDD情報が表示されます。
- **戻る**を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、**戻る**を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

USB-HDD(まるごと録画用)

まるごと録画用USB-HDDの診断をおこないます。

▶準備

- 本機背面のまるごと録画用USB端子にUSB-HDDをつなぎ、本機に登録しておく [P.61](#)、[P.62](#)

3 USB-HDD(まるごと録画用)を選んで^{決定}を押す

4 開始が選ばれているので^{決定}を押す

- 読み込み完了後、USB-HDD情報が表示されます。
- **戻る**を押すと前の画面に戻ります。
- 確認が終わったら、**戻る**を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

ソフトウェア情報と更新について

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア(制御プログラム)を改良版として公開する場合があります。ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。

● デジタル放送電波を使って更新する

改良版の公開情報は当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)でご確認ください。



- ソフトウェア更新中は、電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。動作しなくなったときは、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」 P.94 にご連絡ください。

ソフトウェアのバージョンを確認する

現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

本体設定から確認する場合

1 **ホーム** を押して、**設定** → **本体設定** を選んで **決定** を押す

2 **その他** → **ソフトウェア情報と更新** → **バージョン情報** を選んで **決定** を押す

- ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。
- 確認が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

デジタル放送電波を使って更新する

本機の電源オフ(待機)のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

1 **ホーム** を押して、**設定** → **本体設定** を選んで **決定** を押す

2 **その他** → **ソフトウェア情報と更新** → **放送波による自動更新** を選んで **決定** を押す

3 **自動更新する** を選んで **決定** を押す

- ダウンロードが実施されると **お知らせメール** が届きます。 P.72
- 設定が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。



- 以下の場合は、ソフトウェアを自動更新できません。
 - 電源プラグが抜けている
 - 悪天候などにより受信状態が悪い
 - 本機の電源がオンになっている
- 本機のソフトウェア更新は、本機の電源オフ(待機)時におこなわれます。
- ダウンロード更新中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。



- ダウンロードをおこない、ソフトウェアを更新したあとは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は本機前面の電源LED(白色)が点滅します。

文字入力のかた

- リモコンの  を押すたびに、文字の入力モードの切り換えができます。
-  を押すと【全角かな】で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。それ以外のおときは、すべての文字を確定させて文字入力を終了します。
-  を押すとカーソルが1文字左へ、 を押すとカーソルが1文字右へ移動します。
- 確定状態でカーソルが最後尾にあるおときに  を押すと、半角スペースが入ります。
- 文字を入力していないおときに  を押すと入力の先頭へ、 を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
- ▲・▼で文字入力部にハイライトを移動したお状態で、 を押すとカーソルが1文字左へ、 を押すとカーソルが1文字右へ移動して、 を押すと入力確定します。
- ▲・▼・◀・▶で画面上のボタンを選んで、 で文字を入力します。



- 以下の文字を入力することができます。

ボタン	入力モード				
	全角かな	全角カナ	半角カナ	英字／記号	数字
あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイイアイウイオ		1
か	かきくけこ	カキクケコ	かくく	abc / ABC	2
さ	さしすせそ	サシスセソ	さすせ	def / DEF	3
た	たちつとと	タチツテトツ	たつつ	ghi / GHI	4
な	なにぬねの	ナニヌネノ	たぬ	jkl / JKL	5
は	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハフホ	mno / MNO	6
ま	まみむめも	マミムメモ	マムメ	pqrs / PQRS	7
や	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	やゆよ	tuv / TUV	8
ら	らりるれろ	ラリルレロ	りる	wxyz / WXYZ	9
記号	濁音／半濁音*1 全角記号*2	濁音／ 半濁音*1	濁音／ 半濁音*1	半角記号*3	0
わをん	わをんわ。。 全角スペース	ワヲンわ。。 全角スペース	ワヲん。。 半角スペース	半角 スペース	半角 スペース
番組記号	番組記号*4			小文字／大文字	

▷ ▲・▼・◀・▶と^送で入力した文字を、漢字に変換するとき
 (例)「もくよう」と入力後に「木曜」と漢字変換するとき

① ま を選んで^送を5回押す

も

② か を選んで^送を3回押す

も <

③ や を選んで^送を3回押す

も < よ

④ あ を選んで^送を3回押す

も < よ う

⑤ ^{早送り}▶ を押して漢字に変換する

木曜

- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返してください。
- ^緑を押すと、漢字の変換が確定します。

▷ 次の文字が同じボタン上にあるときは

^{スキップ}▶ を押すと、カーソルが1文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力を続けてください。

お知らせ

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。
- 全角文字／半角カナで最大40文字(半角は最大80文字)まで入力できます。
- 未確定文字は最大9文字まで入力できます。
- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

本機や放送局からのお知らせを確認する

お知らせメールについて

ホームメニューの【お知らせメール】で、本機や放送局から送られてくるメールを確認できます。未読のお知らせがある状態で本機の電源をオンにすると、ホーム画面上に【設定】からメールを確認してくださいというメッセージが約20秒間表示されます。

■ 本機ではパソコンや携帯電話などの電子メールは扱えません。

放送メール

本機や放送局からメールが送られてきます。

▷ 本機から送られてくるメール

本機から以下の情報や連絡が送られてきます。

- 【送信状況変更のお知らせ】
地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
- 【自動チャンネル再設定のお知らせ】
本機が自動チャンネル再設定をおこなったとき
- 【ダウンロードのお知らせ】
ダウンロード可能なソフトウェアがあるとき
- 【FW更新のお知らせ】

ソフトウェアの更新をおこなったとき
最大39通まで保管できます。39通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。

▷ 放送局から送られてくるメール

放送局からのお知らせが送られてきます。

1放送局につき、最大13通まで保管できます。13通保管された状態で新たなメールを受信した場合は、一番古いものが消去されます。保存期限は14日間です。

いろいろな設定を変える(本体設定)

本体設定を使う

1 **ホーム**を押して、**設定** → **本体設定**を選んで**決定**を押す

2 お好みの項目または設定を選んで**決定**を押す

- この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。
- **戻る**または◀を押すと、一つ前の項目に戻ります。▶を押すと、次の項目に進みます。

▷ 確認画面が表示されるときは

- **はい**を選んで**決定**を押します。
- 設定が終わったら、**戻る**を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

ご注意

- まるごと録画中は、設定できない項目があります。(設定できない場合は、その項目は選べません。)
- 再生中にホームメニューを表示すると、再生が自動的に停止します。

いろいろな設定を変える(本体設定)(つづき)

本体設定の項目と設定内容

設定のしかたについて、くわしくは **P.73** をご覧ください。(____ はお買い上げ時の設定です。)

HDMI接続設定

- ▷ **出力解像度設定**
自動: おすすめの設定です。接続したHDMI機器およびコンテンツに応じて自動で適切な解像度に設定します。
480p: 480プログレッシブで出力します。
720p: 720プログレッシブで出力します。
1080i: 1080インターレースで出力します。
1080p: 1080プログレッシブ60フレームで出力します。
- ▷ **ディープカラー**
自動: 接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合は、自動でHDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。
切: HDMI出力端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。
- ▷ **音声出力**
 HDMI出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。
入/切
- ▷ **AAC**
自動: 接続する機器がAACに対応している場合は、HDMI出力端子からビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。)
PCM: AAC音声をLPCMに変換して出力します。
- ▷ **機器制御**
 HDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどとの連動機能を使うかどうかの設定をします。 **P.63**
入(利用する)/切(利用しない)
 - 【入】に設定すると、【待機モード設定】の設定も自動的に【モード1】に設定されます。
 - 本機とHDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどとHDMIケーブルでつなぐと、本機が対応している連動機能を利用できます。くわしくはHDMI-CEC対応機器側に付属の取扱説明書をご覧ください。

USB-HDD管理

- ▷ **番組保存用USB-HDD登録**
 番組保存用USB-HDDの登録/解除をおこないます。 **P.62**
- ▷ **まるごと録画用USB-HDD登録**
 まるごと録画用USB-HDDの登録/解除をおこないます。 **P.62**

その他

- ▷ **無操作電源オフ**
 電源オン状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源をオフ(待機)にするかどうかの設定をします。
切/30分/1時間/2時間/3時間/6時間
- ▷ **テレビ画面保護**
 ホームメニューなどを表示中に操作をしない状態が約15分続いた場合は、スクリーンセーバーが起動します。
入/切
- ▷ **待機モード設定**
 待機時消費電力を抑えるかどうかを設定します。
モード1:
 本機の起動が早くなるモードです。
モード2:
 待機時消費電力を抑えるモードです。
 【HDMI接続設定】の【機器制御】は、自動的に【切(利用しない)】に設定されます。
 - 以下の設定の場合は、【待機モード設定】は自動的に【モード1】になります。
 - 【機器制御】が【入(利用する)】のとき
 - 【モード1】のときは内部の制御部が通電状態になるため、【モード2】のときと比較して次のようなところが異なります。
 - 待機時消費電力が増加します。
 - 本機内部の温度上昇を防ぐため、本機背面の冷却用ファンが回ることがあります。
- ▷ **リモコン設定**
 本機のリモコンを設定します。
リモコン側のテレビ操作設定:
 本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。くわしくは「テレビメーカーを設定する」 **P.26** をご覧ください。
- ▷ **本体LED表示**
 本機のLEDの明るさを設定します。
明るい: LEDは常に明るくなります。
暗い: LEDは常に暗くなります。
再生時オフ:
 LEDは常に暗くなります。また、再生中に1分間何も操作しなければ、再び操作をするまでLEDは消灯します。
- ▷ **日時設定**
 本機の日時を設定します。
 - デジタル放送受信時は自動取得するため、現在の日時を表示するのみで、設定変更はできません。
- ▷ **ソフトウェア情報と更新**
 本機の電源オフ(待機)のときにデジタル放送電波を使用したダウンロードによる最新ソフトウェアの更新をするかどうかの設定をします。 **P.68**
- ▷ **初期化**
 本機で設定したデータを、お好みに合わせて初期化します。 **P.77**

放送関連の設定を変える(放送受信設定)

放送関連の設定は、【放送受信設定】メニューで変更することができます。

放送受信設定を使う

1 **ホーム** を押して、**設定** を選んで **決定** を押す

2 **放送受信設定** を選んで **決定** を押す

3 お好みの項目または設定を選んで **決定** を押す

- この操作を繰り返し、お好みの設定に変更します。
- 設定が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。



- ご注意**
- 以下の場合、放送受信設定はおこなえません。
 - まるごと録画機能を【有効】に設定しているとき
 - まるごと録画番組の保存中

放送受信設定の項目と設定内容

地上デジタル設定

▷ 初期スキャン

お住まいの県域を選んでください。お住まいの県域に合った地上デジタルチャンネル設定をおこなうために必要です。引越など、地上デジタル放送の受信県域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやりなおします。【かんたん一括設定】の中で実行されるスキャンと同じです。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

通常：地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンします。

CATV対応(ケーブルテレビ)：CATVのチャンネルを対象にスキャンします。

▷ 再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンをおこない、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

▷ 自動チャンネル再スキャン

入：地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

切：地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的に更新しません。視聴できないチャンネルが発生した場合は、【再スキャン】をおこなってください。

▷ 受信状態の確認

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナのアンテナレベルを確認できます。**アッテネーター【入】/【切】**：

アンテナレベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。【アッテネーター】の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。 **P.27**

物理チャンネル：

リモコンの **▲・▼** ボタンで、物理チャンネルを選択し、受信します。

放送関連の設定を変える(放送受信設定)(つづき)

一般設定

▷ RMPメーカーID表示

まるごと録画するチャンネルに使用するRMPメーカーIDを表示します。

▷ アンテナ出力

本機の電源オフ(待機)のとき、本機背面の地上デジタル出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。

本機の地上デジタル出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは、【入】に設定してください。

【切】に設定すると、本機の電源オフ(待機)のときにテレビで地上デジタル放送が受信できなくなる場合があります。

入：電源オフ(待機)時でも地上デジタル出力端子から信号を出力します。

切：電源オフ(待機)時は地上デジタル出力端子からの信号を減衰させます。

▷ Gガイド地域設定：

お住まいの地域を設定します。

Gガイドの機能をご利用いただくために必要な設定です。

▷ Gガイド受信確認：

お客様のお住まいの地域で、番組データを取得できるか確認します。

本機を初期化する

本機で設定するデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合は、【すべての初期化】をおこなうことをおすすめします。

1 **ホーム** を押して、**設定** → **本体設定** を選んで **決定** を押す

2 **その他** → **初期化** を選んで **決定** を押す

3 お好みの項目を選んで **決定** を押す

▷ **【本体設定】を初期値に戻す**

設定項目の初期化 を選んで **決定** を押す

- 記録された番組は残ります。
- 初期化が終わったら、**戻る** を約1秒長押しすると、ホーム画面に戻ります。

▷ **工場出荷状態に戻す**

すべての初期化 を選んで **決定** を押す

- 記録された番組も含め、すべて初期化されます。
- 初期化が終わったら、電源がオフ(待機)になります。



- 本機に記憶されたお客様の個人情報の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

二カ国語・マルチ番組・字幕について

二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。 再生時に音声切換で音声を選べます。*
マルチ番組の映像・音声	1つの映像と複数の音声記録されます。 (再生時に音声切換で音声を選べます。)
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録されます。 (再生時に  で字幕表示の入／切ができます。)

- ※ 【HDMI接続設定】の【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力している場合は、音声を切り換えることができません。【HDMI接続設定】の【AAC】を【自動】から【PCM】に変更することで本機で音声切換できるようになります。 [P.74](#)

各メディアに関するその他のお知らせ

ハードディスクについて

▷ ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速でおこなうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このハードディスクを内蔵しています。

次のようなことはおこなわないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源がオンになっているときは、お気をつけください。
- 本機の電源がオンになっている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源がオンになっている状態や電源をオフ(待機)にした直後、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源をオフ(待機)にしたあと、2分以上経過してからおこなってください)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- ハードディスクは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- ハードディスクが故障すると、再生が不能になったり、ハードディスクの録画(録音)内容が失われることがあります。

▷ ハードディスクへの録画(録音)について

- ハードディスクは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。

▷ その他

- お客様ご自身で本機のハードディスクを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源をオフ(待機)にしておいてください。
- ハードディスクは、お買い上げ時には何も録画されておられません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

USB-HDDについて

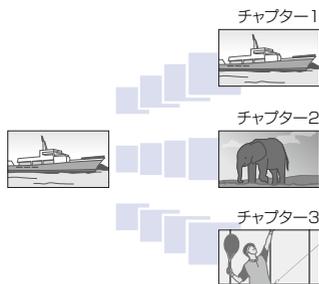
- 本機とUSB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画できます。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源をオフにしたり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDDおよび本機が故障したりする原因となることがあります。

番組・チャプターについて

▷ 番組とチャプター

番組： 本体やUSB-HDDなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。短編集の「話」に相当します。

チャプター： 1つの番組の中で、場面ごとにさらに小さく区切られています。本の「章」に相当します。まるごと録画番組の再生時はチャプターは作成されませんが、まるごと録画番組を保存すると、自動的に作成されます。本機でチャプターを編集することはできません。



テレビ画面に表示されるメッセージ

メッセージの内容は、実際に画面に表示される文言とは一部異なる場合があります。

	表示されるメッセージ (例)	メッセージの意味と対応のしかた	ページ
操作全般		<ul style="list-style-type: none"> 現在、その操作をおこなうことは禁止されています。 	—
	まもなくオートオフ機能により電源が切れます。	<ul style="list-style-type: none"> 【無操作電源オフ】を設定しているため、まもなく電源がオフ(待機)になります。 → 何らかの操作をすると、電源はオフ(待機)になりません。 【無操作電源オフ】を無効に設定するときは、ホーム → 設定 → 本体設定 → その他 から【無操作電源オフ】の設定を【切】にしてください。 	P.74 P.74
メール	設定からメールを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 新着のお知らせメールがあります。 → ホーム → 設定 → お知らせメール からメールの内容を確認してください。 	P.72
USB-HDD	登録したUSB-HDDが接続されていません。 登録設定したUSB-HDDを、本機背面のUSB端子に接続してください。	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDを認識できません。もしくは認識できないUSB-HDDが接続されています。USB-HDDを確認してください。 本機で登録できるUSB-HDDの容量は、32GB~6TBになります。 保護装置がはたらいていませんか。 	P.60 P.82
録画	本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の動作を安定させるために、録画などの動作が停止された可能性があります。動作が改善されない場合は、P.82 の手順3を試してください。(それでも動作が改善されない場合は、内蔵ハードディスクの異常が原因の可能性もあります。) 	P.79 P.82

困ったときは

よくあるご質問

サポート動画のご案内

当社製品情報サイトの「サポート」ページで、サポート動画をご覧いただけます。サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。



funai.jp/cs/supportmovie/#hm2040

	質問	回答	ページ	
準備	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？	・ 本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。	P.18	
	ハイビジョン映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか？	・ HDMI入力端子付きのテレビとHDMIケーブルでつないでください。	P.17	
メディア	本機で使えるディスクは？本機で録画や再生可能なディスクは？	・ 本機はディスクに対応しておりません。	—	
視聴	現在放送中の番組を視聴することはできますか？	・ できません。本機ではまるごと録画した番組のみ視聴できます。	—	
まるごと録画	二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	・ 「二カ国語・マルチ番組・字幕について」をご覧ください。	P.78	
	字幕の録画はできますか？	・ できます。	P.78	
	デジタル放送は録画できますか？	・ 本体またはUSB-HDDに直接録画できます。	P.31	
	デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	・ 本体またはUSB-HDDに直接録画できます。	P.31	
	BS・110度CSデジタル放送は録画できますか？	・ 本機では録画できません。	—	
	デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	・ 本機では録画できません。	—	
	同時録画はできますか？	・ できます。	—	
	ダビング10(コピー9回+移動1回)番組の録画はできますか？	・ できます。ただし、本機ではダビングすることはできません。	P.31	
	再生	本機で録画したUSB-HDDを、他の機器で再生できますか？	・ 本機で記録したUSB-HDDは、他の機器では再生できません。	P.60
	ダビング	ダビングできますか？	・ 本機ではダビングできません。	—
その他	日本全国どこでも使えますか？海外でも使えますか？	・ 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	P.88	
	ビデオテープとの違いは？	・ ハードディスクに録画すれば長時間番組も録画できます。 ・ ハードディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、消去することも可能です。 ・ 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。(ビデオテープのように早送り/巻戻しをする必要はありません。) ・ パソコンのように、電源をオンにしてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	— — — —	

症状に合わせて解決法を調べる

おかしいな?と思ったときの調べかた

おかしいな?と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、AVアンプなど、接続している機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

自己診断機能で本機の主な機能に故障がないかをご確認ください。 **P.65**

問題がないときは



「こんなときは」(症状)と「ここをお調べください」(対処方法)をご覧ください。

P.83 ~ **P.86**

あてはまる症状がないときは



保護装置がはたらいていませんか?

- USB-HDDを接続している場合は、あらかじめ取りはずしておいてください。
 - 以下の方法で、保護装置を解除してください。
- ① 本機の電源をオフにすることができる場合は、本機前面の  を押して電源をオフ(待機)にする
 - ・ 上記手順①で電源がオフ(待機)にならなかった場合は、電源ボタン  を8秒間以上長押しすることにより、強制終了することができます。
 - ② 本機の電源プラグをコンセントから抜いて、数分間待つ
 - ③ 本機の電源プラグをコンセントに挿し込む(本機が通電状態になります。)
 - ④ 電源をオンにして、動作を確認する

8秒以上押し続ける



保護装置を解除しても直らないときは



お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 保護装置とは? 機器内部に何らかの異常を検知すると、本機を保護するための保護装置がはたらき、強制終了する機能のことで。

サポート動画のご案内

当社製品情報サイトの「サポート」ページで、サポート動画をご覧いただけます。サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。



funai.jp/cs/supportmovie/#hm2040

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。また、ACアダプターと電源コードはしっかりと接続されていますか。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順3以降をおこなってください。 	<p>P.19</p> <p>P.11</p> <p>P.82</p>
	何も操作をしていないのに、勝手に電源がオンになる	<ul style="list-style-type: none"> ダウンロードしたソフトウェアの更新中(本機前面の電源LED(白色)が点滅)です。 	P.12
	電源をオンにすると、【かんたん一括設定】開始画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 【かんたん一括設定】をしていないときは、電源をオンにすると【かんたん一括設定】開始画面が表示されます。 	P.20
	テレビの電源をオン/オフ(待機)すると、本機の電源も自動的にオン/オフ(待機)になる	<ul style="list-style-type: none"> HDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどと合わせて【機器制御】機能のテレビ電源オン/オフ機能やテレビ電源オフ機能を使用しているときは、テレビの電源のオン/オフに連動して本機の電源が自動的にオン/オフ(待機)になります。(お使いのテレビによっては、自動的に電源がオンにならないものもあります。) 	P.63
	勝手に電源がオフ(待機)になる	<ul style="list-style-type: none"> 【無操作電源オフ】を設定していませんか。 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに押し込むと電源LED(青色)が点灯し、しばらくすると本機の電源をオンにして操作できるようになります。 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順3以降をおこなってください。 電源をオンにした際に、電源LEDが青色と白色交互に点滅しているのは、本機の高温保護機能により自動的に電源をオフ(待機)にしたことを示しています。 →コンセントから電源プラグを抜いて、本機の設置場所についてご確認ください。 	<p>P.74</p> <p>—</p> <p>P.82</p> <p>P.12</p>
電源をオフ(待機)にしても、電源がしばらくオフ(待機)にならなかったり、オフ(待機)になるまで時間がかかったりする	<ul style="list-style-type: none"> システムの終了や情報の更新をおこなうため、実際に電源がオフ(待機)になるまで、しばらく時間がかかることがあります。 	—	
本機の操作全般	本機が動かない 本機の操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> その操作が禁止されているときは、またはメッセージが表示されます。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ご購入後に初めて電源をオンにしたときは、【かんたん一括設定】開始画面が表示されます。 【かんたん一括設定】実行中は、録画・再生などの操作はできません。 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順3以降をおこなってください。 本体に記録されている番組数が多いと、その分、本機の電源プラグを挿しなおした際の起動に時間がかかります。 	<p>—</p> <p>P.11</p> <p>P.20</p> <p>—</p> <p>P.82</p> <p>—</p>
	本機の設定画面やオプションメニューが選べない	<ul style="list-style-type: none"> 現在操作ができない項目はグレー表示されます。 テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 	<p>—</p> <p>P.20</p>
	本機が正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 結露(露付き)が起きているいませんか。 →電源をオンにしたまま、2時間以上お待ちください。 	P.89
	本機前面のLEDが正常に点灯、点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> 保護装置がはたらいている可能性があります。 →「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順3以降をおこなってください。 	P.82

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
録画	まるごと録画ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ・【まるごと録画機能】を【無効】に設定していませんか。 ➔まるごと録画をおこなう場合は、【まるごと録画機能】を【有効】に設定してください。 ・「録画禁止」番組を録画していませんか。 ・アンテナを本機に接続していますか。 ・本機でUSB-HDDを登録しましたか。 ➔USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、「USB-HDDをまるごと録画用として登録する」で登録する必要があります。 ・本機に登録したUSB-HDDを接続していますか。 ➔登録したUSB-HDDが正しく認識できないとまるごと録画できません。「USB-HDDをつなぐ」で正しく接続・設定してください。登録済みのUSB-HDDが不要になった場合は、必ず「USB-HDDをまるごと録画用として登録する」の「登録を解除するときは」の操作をおこなってください。 ・他機で初期化されたUSB-HDDは、本機では録画できません。 ・保護装置がはたらいていませんか。 	<p>P.32</p> <p>P.31</p> <p>P.17</p> <p>P.62</p> <p>P.61</p> <p>P.62</p>
	まるごと録画一覧から番組が消えた	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと録画番組はまるごと録画用領域の容量が少なくなると、番組の情報量によって自動的に消去されます。 ・まるごと録画一覧の番組内容画面には、自動消去アイコンが表示されます。自動消去される日数の目安値が表示されるので、それを参考に残しておきたい番組は自動消去される前に保存することをおすすめします。 ・まるごと録画設定を変更すると、これまでにまるごと録画された内容が消去される場合があります。 ・USB-HDDの電源がオフになっていたり、ケーブルが抜けたりしていませんか。 	<p>P.45</p> <p>P.36</p> <p>—</p> <p>P.61</p>
	保存予約したまるごと録画番組が保存されていないことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと録画番組は、まるごと録画用領域の容量が不足すると古い番組から自動で消去されます。保存を実行する前に自動で消去されてしまった番組は保存されません。 	P.45
	保存予約一覧に予約が残ったままになる	<ul style="list-style-type: none"> ・番組保存用領域の容量が足りない場合や番組数が最大数になっている場合は、保存予約が実行されません。 ➔不要な保存番組を消去してください。 	P.54
	番組を保存できない	<ul style="list-style-type: none"> ・本体またはUSB-HDDに十分な空き容量がありますか。 ➔空き容量が少ない場合は、番組を消去して空き容量を増やしてください。 	P.54
	再生できない 再生画面が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 ・USB-HDDの登録を解除していませんか。 ➔登録を解除してしまうと、USB-HDDを接続しても番組を再生できなくなります。また、再登録する場合は、USB-HDDが初期化されるのでご注意ください。 ・本機とテレビを直接つないでいますか。他の録画機器などを経由して本機とテレビをつなぐと、コピーガードにより再生画面が出ないことがあります 	<p>P.20</p> <p>—</p> <p>—</p>
番組の最初から再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・つづき再生(レジューム再生)になっていませんか。 	P.36	
再生中の映像が乱れる 再生中の色がおかしくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ・携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか。 	<p>—</p> <p>—</p>	
音が出ない 字幕が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・AVアンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> － つないだ機器の電源がオンになっていますか。 － つないだ機器の入力切換が合っていますか。 － ケーブルやコードを正しく(入力/出力も含む)つないでいますか。 ・【HDMI接続設定】の【AAC】を、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定していますか。 ・字幕情報がない番組については、字幕を切り換えてできません。 	<p>P.74</p> <p>P.58</p>	
デジタル音声の 二重音声が切り換えられない	<ul style="list-style-type: none"> ・【HDMI接続設定】の【AAC】を【自動】に設定してビットストリーム出力しているときは、本機で二重音声(主音声/副音声)を切り換える操作をしても、音声切り換わりません。 ➔設定を【PCM】にするか、テレビまたはアンプ側で音声を切り換えてください。 	P.74	

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
再生	テレビに本機の映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> 本機-テレビを接続していますか。 ケーブルやコードを違う端子(入力/出力も含む)につないでいませんか。 ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか。 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、【出力解像度設定】の設定が合っていないと、正常に映りません。 ▶【再生】を5秒以上押し続けてください。設定が【自動】になり、映るようになります。 テレビの入力切換を、本機を接続した入力にしていますか。 	<p>P.17</p> <p>↓</p> <p>P.19</p> <p>P.74</p> <p>P.20</p>
	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 本機の電源プラグを、常にコンセントに挿し込んで、通電状態にしておいてください。 アンテナ線とHDMIケーブルなどの距離を離してください。 【一般設定】の【アンテナ出力】が【切】になっていませんか。この設定が【切】になっていると、本機の電源がオフ(待機)になっている間は、地上デジタル放送アンテナ信号を送ることができません。 	<p>—</p> <p>P.19</p> <p>—</p> <p>P.76</p>
	まるごと録画番組の映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> UHFアンテナ、アンテナケーブルなどはデジタル放送対応のものを使っていますか。 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンをおこなってください。 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎずの場合でもアンテナレベルが下がり、【放送受信設定】の【信号品質】の数値が低くなります。信号品質の数値は、【20】以上を目安にしてください。 ▶【自己診断機能】の【放送チャンネル】では信号品質を一覧で確認できます。 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、【放送受信設定】の【受信状態の確認】内で、【アッテネーター】を【入】に設定すると、映りが改善されることがあります。 分配器を使っていませんか。市販品のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>P.13</p> <p>P.17</p> <p>P.75</p> <p>P.27</p> <p>P.67</p> <p>P.27</p> <p>—</p>
消去	映像の左右の端が切れる	<ul style="list-style-type: none"> テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。 	—
	番組の消去ができない	<ul style="list-style-type: none"> 番組が保護されている場合は、消去はできません。 ▶番組の保護設定を解除してください。 	P.55
	消去した番組を元に戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、消去してください。 	—
USB-HDD	初期化した内容を元に戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。内容をよく確認してから、初期化してください。 	—
	USB-HDDを使用できない	<ul style="list-style-type: none"> USB-HDDの電源がオンになっていますか。 ▶USB-HDDの電源をオンにしたあと、本機の電源をオンにしてください。 USB-HDDを正しく接続・設定していますか。 ▶正しく接続・設定してください。 本機でUSB-HDDを登録しましたか。 ▶USB-HDDを使用するには、本機と接続したあと、登録する必要があります。 	<p>—</p> <p>P.61</p> <p>P.62</p>
機器制御機能	【機器制御】機能がはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> 【機器制御】機能は、本機とHDMI-CECに対応したテレビやAVアンプなどを合わせて、必要な接続(HDMI接続)と設定をおこなっている場合のみ使えます。 【機器制御】機能が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、機器制御機能が無効となります。 ▶電源プラグやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または【HDMI接続設定】から【機器制御】の設定を一度【切(利用しない)】に変更して決定したあともう一度設定を【入(利用する)】に変更して決定すると、再び【機器制御】機能が有効になります。 	<p>P.63</p> <p>—</p>

症状に合わせて解決法を調べる(つづき)

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
リモコン	リモコンがはたらかない 本機だけ、テレビだけ、 など一部のボタンを 押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池が消耗していませんか。 	P.11
	テレビの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> テレビメーカーの設定をしていますか。 乾電池が消耗していませんか。乾電池が消耗していると、テレビの操作だけができないことがあります。 乾電池を交換したり乾電池が消耗したりした場合は、テレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(FUNA)に戻ることがあります。乾電池を交換していない場合は、リモコンの乾電池をすべて新品に交換してください。乾電池を交換したあとは、テレビメーカー番号を再設定してください。 	P.26 P.11 P.16 P.26
その他	何も操作していないのに、 本機の内部で音がする 本機の動作音が大きくなる	<ul style="list-style-type: none"> 番組データの受信中やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。 内蔵ハードディスクのメンテナンスを自動的におこなっており、一時的にハードディスクの動作音が通常より大きくなる場合があります。 設定している録画チャンネル数が多いほど、まるごと録画中の動作音が大きくなる場合があります。 	— — —
	設定可能なチャンネルが 見つからない	<ul style="list-style-type: none"> RMP方式(コンテンツ保護方式)に対応していない場合は、まるごと録画設定の録画チャンネルに設定できません。 受信状態の影響により、一時的にチャンネルを受信できていない可能性があります。【設定】→【放送受信設定】から【再スキャン】をおこなったあと、【設定】→【まるごと録画設定】の【録画チャンネル】を再設定してください。 	— —

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

内蔵ハードディスクおよびUSB-HDDについての重要なお願い

- 本機にはハードディスクが内蔵されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- ハードディスクは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので、以下のことにお気を付けください。
 - 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
 - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
 - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
 - 背面の冷却用ファンの通風孔を、ふさがないようにしてください。
 - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
 - 電源をオンにしたままの状態でも電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のプレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタン  を押して、終了処理が終わり、完全に電源がオフ（待機）になってから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりプレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
 - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- ハードディスクは、パソコンと同様に壊れやすい要因を多分に含んだ非常に精密な機器です。使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合はデータの読み書きができなくなる恐れも十分にあります。このためハードディスクは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの一時的な保管場所として使用してください。また、ハードディスク内に壊れかけている部分がある状態で録画した場合は、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生したりすることがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきたり、最悪の場合は、ハードディスク全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
- USB-HDDに録画番組などのデータを記録した場合でも、記録したデータが長期的に保管できることを保証するものではありません。

使用上のお願い(つづき)

本機について

▷ 本機は日本国内専用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This unit is designed for use in Japan only.

▷ 取り扱いに関すること

- 非常時をのぞいて、電源がオンになっている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ本機の電源をオフ(待機)にしてから抜くことをおすすめします。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性の高いものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱いってください。

▷ 使用しないときは

- ぶだん使用しないとき：
電源をオフ(待機)にしてください。
- 長期間使用しないとき：
電源プラグを抜いてください。

▷ 置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また、本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

▷ お手入れに関すること

- お手入れの場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- 本機の汚れは柔らかい布(ガーゼなど)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナーなど有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面が変質する恐れがあります。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ったあとに拭き取ります。中性洗剤を使って拭いたあとは、温수에浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本機に水が入らないように、十分注意してください。
- 本機には内部で発生した熱を外へ逃がすために冷却用ファンおよび通風孔が設けられています。通風孔がほこりなどで塞がれてしまうと放熱が不十分となり故障の原因となりますので、本機背面および底面の通風孔にほこりが溜まらないように本機の設置場所およびその周辺を定期的に掃除してください。

▷ アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続したとき、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販品のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合は改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良がないように十分確認してください。

▷ 地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)
- 地上デジタル放送の特長
 - ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
 - ② 高音質放送(MPEG-2 AAC方式)
 - ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
 - ④ 移動体受信・部分受信サービス
(本機では部分受信サービスは受信できません。)

▷ 放送、通信サービスについて

- 放送は、予告なしに放送事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

▷ 録画・録音について

- 本機を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限(録画禁止など)がある場合があります。このときは、まるごと録画をしても録画が実行できない場合があります。

▷ 停電について

- 本機の録画中に停電があったとき、その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。

▷ 冷却用ファンについて

- 番組情報や番組データの取得中は、冷却用ファンが回るなど動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

▷ メディア再生時の制限事項

- ボタン操作中にテレビ画面に  が表示されることがあります。 が表示されたときは、現在本機がその操作をおこなえないことを示します。

▷ ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期していますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。
- 本機の【放送波による自動更新】を【自動更新する】に設定しておく、放送電波に含まれるソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアを更新することができます。(地上デジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。お買い上げ時は、【自動更新する】に設定されています。)
- ソフトウェアの更新や【自動更新する】について、くわしくは [P.68](#) をご覧ください。ソフトウェアの更新中は電源をオフ(待機)にしたり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

▷ HDMI連動機能(【機器制御】機能)について

- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作を保証するものではありません。

▷ 結露(露付き)について

- 結露(露付き)とは、例えば、よく冷えたビールをコップについていたときのコップの表面につく水滴です。この現象と同じように、本機内部の部品や、部品の内部などに水滴がつくことがあります。
- 結露(露付き)は本機が下記の状態のときにおきやすくなります。
 - 寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
 - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
- 結露(露付き)がおきたとき、またはおきそうなときは、本機のご使用をただちにやめてください。または電源プラグをコンセントに挿入しないでください。結露(露付き)がおきた状態で本機を使用すると、部品を傷めることがあります。

▷ 本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の場合は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合は、各種「本機を初期化する」の「すべての初期化」[P.77](#) をおこない、個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。

使用上のお願い(つづき)

▷ ライセンス情報

本製品に使用されるソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれのソフトウェアコンポーネントには、当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
Portions of this software are copyright (C) 2006, 2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品には、GNU General Public License (以下、GPL)およびGNU Lesser General Public License(以下、LGPL)に基づき利用許諾されるソフトウェアが搭載されています。
 - GPLソフトウェア：Linux, busybox, dhcpcd, VIXS AV driver, mtd-utils, mkdosfs, exfat-utils
 - LGPLソフトウェア：DirectFB, eglbrc
- 本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。
- 詳細については、**ホーム**→**【設定】**→**【本体設定】**→**【その他】**→**【ソフトウェア情報と更新】**の**【ライセンス情報】**でご確認いただけます。
- 組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

(連絡先)

〒574-0013

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

船井電機株式会社

▷ 著作権について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておられません。詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
 - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
 - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴR」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

用語解説

数字・アルファベット順

AAC

Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送をおこなうこともできます。

GB(ギガバイト)

内蔵ハードディスク/USB-HDDの容量を表す単位で、数値が大きいくほど容量が大きくなります。

HDD(ハードディスクドライブ)

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速でおこなうことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このハードディスクを内蔵しています。(お客様ご自身でハードディスクを交換できません。)

HD放送(ハイビジョン画質)

高精細度テレビジョン放送のことで、走査線数(画面を構成する絵素の輝度または色の数)を増やし、かつワイドアスペクト比(16:9)を採用することにより、鮮明な映像を実現したテレビジョン放送です。

HDMI

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

HDMI-CEC

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

LPCM

LPCMはLinear Pulse Code Modulationの略で、信号を一定時間ごとに数値化(サンプリング)して記録するPCM方式の一種で、アナログ信号をそのまま圧縮せずにデジタル音声に変換された音声信号のことで、リアPCM(ピーシーエム)とも呼ばれます。

MPEG(エムペグ)、MPEG-4 AVC/H.264

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。MPEG-4 AVC/H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

RMP方式

地上デジタル放送専用のコンテンツ保護方式です。物理的なカード等は使用せず、ソフトウェアで実装されています。

USB

Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインターフェースです。本機では、USB-HDDを接続して録画ができます。

USB-HDD

(ユーエスピーハードディスクドライブ)

USB端子付きの外付けハードディスクのことで、USBケーブルを使って本機背面のUSB端子につなぐと、録画可能な時間を拡張させることができます。

VBR(可変ビットレート方式)

Variable Bit Rateの略で、映像の動きの多い/少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

あ

頭出し

番組の再生中に、前または次のチャプターへとばす操作のことで、

アスペクト(比)

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比のことで、

アッテネーター

信号を弱くする装置(減衰器)のことで、設定を【入】にすると強すぎる信号強度が適正なレベルになり、信号品質が良くなる場合があります。

アンテナレベル

地上デジタル放送の放送電波の受信強度を表したもので、一定レベル以上の電波が受信できれば録画が可能になります。

インターフェース

二つのものが接続・接触する箇所や、両者の間で情報や信号などをやりとりするための手順や規約を定めたものを意味します。

インターレース(飛び越し走査)(480i)

テレビに映像を映すときに従来からおこなわれている方式で、1つの画像(有効走査線数480本)を1本とばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。

お知らせメール

本機や放送局から送られてくるメールのことで、

おすすめ再生機能

お気に入りの条件と見やすい画面で番組を楽しめる機能です。

音声・音声言語

番組を再生または録画するときの音声や音声言語を設定できます。

か

画面表示

再生中の番組情報や、再生中や録画中などの本機が動作している状態が表示されます。

かんたん一括設定

ホーム → **【設定】** → **【かんたん一括設定】**で、以下の設定をやりなおすことができます。
チャンネル設定／まるごと録画設定／その他設定

結露／露付き

本機を温度差や湿度差の激しい場所に置いたり移動したりすると、本機内部の部品、部品の内部などに水滴がつくことがある現象を指します。

コピーガード、コピー制御信号

複製防止機能のことで、著作権保護のため、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されている映画や番組は録画できません。

コピーワンス番組 (1回だけ録画可能番組)

地上デジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。

さ

最大記録可能数／登録数／文字数

録画できる番組やチャプターの記録、番組名に制限される文字列数などの数値を指します。

サムネイル

元画像を縮小した見本イメージを確認するために利用されます。

自己診断機能

本機の主な動作やチャンネル状況を診断したり、USB-HDDの情報を表示したりする機能です。

字幕放送

デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示する放送です。

た

ダビング10番組 (コピー9回＋移動1回番組)

地上デジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護・違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、ハードディスクに9回までダビングすることが許可されている番組のことを、ダビング10番組(コピー9回＋移動1回番組)といいます。ただし、本機ではダビングすることはできません。

地上デジタル放送

地上デジタル放送は、地上にあるデジタル方式の無線局から放送信号を受信するテレビ放送のことで、本機ではワンセグ放送は受信できません。

チャプター

録画された映像に付与された区切りを「チャプター」といいます。本(小説など)でいう「章」にあたります。

チューナー

放送電波を受信する装置のことで、本機には地上デジタル用が搭載されています。

デジタルハイビジョン

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数1080本です。

テレビ画面保護

テレビ画面の焼き付きを保護する機能のことで、画面の表示中に操作をしない状態が約15分続いた場合は、スクリーンセーバーが起動します。

同軸ケーブル

電気信号を転送するための電線的一种です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

は

ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送

HDはHigh Definitionの略で、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。
SD放送(Standard Definition)と呼ばれる標準画質よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

番組／チャプター

ハードディスクの大きな区切りを「番組」、番組の中の小さな区切りを「チャプター」といいます。

ビットストリーム

圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているテレビやAVアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート

映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD放送

SDはStandard Definitionの略で、標準画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は480本です。

プログレッシブ(順次走査)(480p)

テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線数480本)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

分波器

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110度CSデジタル信号に分ける機器のことで、

放送受信設定

地上デジタル放送のチャンネルやアンテナなど、お住まいの地域に合わせて設定する機能を指します。

本体設定

映像や音声、接続および本機を活用するためのいろいろな各種設定・変更ができます。

ま

まるごと録画機能

設定した曜日や時間帯の番組を自動的に録画し、お好きな時間に再生できる機能です。

マルチ番組(マルチビュー)

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送がおこなわれます。

無操作電源オフ

電源オン状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源をオフ(待機)にするかどうかの設定がおこなえます。

メッセージ

本機で処理された結果や注意を促したい場合に、それらの情報を画面に表示します。また、システムにエラーが発生した場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。

メディア

番組の録画など、データそのものや、詳細情報などの付加情報を記録・伝送する際に使われる物理的な装置や機器のことを指します。

文字入力

番組検索などに使用します。

ら

リモコン

本機と離れた場所から、遠隔で操作・制御できる小型の操作盤(ユニット)を指します。

冷却用ファン

本機と外部の空気を循環させるためのファンで、本機の内部が熱くなるのを防止する役割があります。

レジューム機能(つづき再生)

再生中に停止したときの再生停止位置(レジュームポイント)を記憶する機能のことです。このレジュームポイントから再生を開始することをつづき再生と呼びます。

録画

放送中の番組からの映像・音声信号を記録することを指します。

■ 保証書について

保証書は付属の簡易版取扱説明書についています。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)の「修理規約」も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社製品情報サイトの「サポート」ページ(funai.jp/cs/)に従ってご確認ください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機 お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

船井電機 製品情報サイトの「サポート」ページ funai.jp/cs/

- 製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。一度ご覧ください。それでも解決しない場合には、当社お客様ご相談窓口までお電話をお願いいたします。



お客様ご相談窓口のご案内

取扱い・修理に関するご質問は、
お買い上げの販売店へお問い合わせください。

- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は (通話料: 無料)

0120-055-271

携帯電話からのご利用は (通話料: 有料)

0570-008-271

受付時間 9:00 ~ 18:00 (年末年始を除く)

※時間帯によっては、お電話が混み合っておりつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※FAXをご利用の方は、こちらまで FAX: 06-6746-3374

- 付属品のご購入についてはこちらをご確認ください。

<https://www.funai-service.co.jp/shop/>



※ 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

(2024年3現在)

- ※ この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼される向き

- 不具合があるときは、電源をオフ(待機)にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合はご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金のしくみ
技術料+部品代+出張料などで構成されています。
※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定(外部機器との接続・調整・取扱説明など)を依頼されると、有料となることがあります。
- 修理不可の場合
製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電氣的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- ・お名前
- ・ご住所
- ・電話番号
- ・お買い上げ製品の型番と製造番号
(本機背面のラベルに記載)
- ・お買い上げ日
- ・症状(故障または不具合の内容)
「症状診断シート」(次頁)をご利用ください。

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録(録音など)させていただきます。また、折り返しお電話させていただくための、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

症状診断シート

本機の故障・不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

【ご確認事項】 ※以下□の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

<p>全情報の初期化： 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になる場合があります。</p> <p>全情報の初期化をおこなうと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB機器*や内蔵ハードディスクの初期化をおこなうと記録内容(保護された番組を含む)はすべて消去されます。</p> <p>※ USB機器は再登録も必要となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない(ご注意：全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。)</p>
--

【不具合症状】

<p>発生区分： <input type="checkbox"/> 地デジ <input type="checkbox"/> BS/CS <input type="checkbox"/> ハードディスク <input type="checkbox"/> USB機器 <input type="checkbox"/> BDディスク <input type="checkbox"/> DVDディスク <input type="checkbox"/> その他()</p>
<p>発生頻度： <input type="checkbox"/> 常時 <input type="checkbox"/> 時々 <input type="checkbox"/> その他()</p>
<p>症状： (できるだけくわしく) 例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。</p>
<p>受信環境 <input type="checkbox"/> 戸建住宅(個別受信) <input type="checkbox"/> マンションなど(共同受信) <input type="checkbox"/> ケーブルテレビ(社名：)</p>
<p>接続機器： <input type="checkbox"/> テレビ (メーカー名：)、型番[機種名]：) <input type="checkbox"/> レコーダー (メーカー名：)、型番[機種名]：) <input type="checkbox"/> 外付けHDD (メーカー名：)、型番[機種名]：) <input type="checkbox"/> その他 ()</p>

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。(この製品の型番、製造番号は保証書および本機背面などに記載してあります。)

お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名/電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	FHR-HM2040
お買い上げ製品の製造番号	

愛情点検

●長年ご使用の製品の点検を！

(熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)



このような
症状は
ありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

仕様

一般	電源	ACアダプター 入力：AC 100V 50/60Hz 出力：DC 12V 4A(付属のACアダプター)		
	定格消費電力	26W(USB電源供給時 32W)(付属のACアダプター使用時)		
	待機時消費電力	待機モード設定： モード1	アンテナ出力設定：入 地上デジタルアッテネーター：切	6.5W
		待機モード設定： モード2	アンテナ出力設定：切 地上デジタルアッテネーター：入	0.05W
	許容動作温度	5～35℃		
	許容湿度	80%最大(結露なきこと)		
	外形寸法	285(幅)×59(高さ)×215(奥行)mm(突起部を含む) 285(幅)×59(高さ)×204(奥行)mm(突起部を含まず)		
質量	1.6kg			
	リモコン	FRM-105HDR		
ハードディスク部	ハードディスク容量	2TB(2,000GB)		
	録画圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264		
	録音圧縮方式	MPEG-2 AAC		
	保存時間	「保存時間一覧表」 P.48 をご覧ください。		
チューナー部	受信チャンネル	地上デジタル：VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63)		
	HDMI出力端子	19ピン Type A		
端子部	USB端子	番組保存用USB端子、まるごと録画用USB端子： USB2.0準拠 Type A DC5V 最大各500mA		
	地上デジタル入出力	75Ω F型コネクタ		

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- ハードディスクの容量は、「1TB=1,000GB」、「1GB=10億バイト」として計算しています。

数字・アルファベット順

10秒戻し	57
30秒スキップ	57
AAC	74
GB	48
HDMI	13
HDMI-CEC	63
HDMI接続設定	74
機器制御	63
HD放送	91
LPCM	91
MPEG	91
MPEG-4 AVC	91
MPEG-4 H.264	91
USB-HDD	60
USB-HDDについて	79
USB-HDDの登録	62
VBR	91

あ

アスペクト(比)	91
頭出し	57
スキップ	57
アッテネーター	27
アフターサービス	94
インターフェース	91
インターレース	91
お知らせメール	72
放送メール	72
おすすめ再生	49
おすすめ再生をする	50
おすすめ番組を表示する	50
新番組を表示する	51
分類項目を変更／新規登録する	52
保存番組を消去する	54
保存番組を保護する	55
まとめ番組を表示する	50
まるごと録画番組を保存する	54
音声・音声言語	49
再生中の切り換え	58
録画	78

か

画面表示	28
かんたん一括設定	20
結露／露付き	89
コピーガード、コピー制御信号	90
コピーワンス番組	92

さ

再生	49
一時停止	56
おすすめ再生をする	50
コマ戻し／コマ送り	57
再生停止位置(レジューム機能)	36
逆スロー／スロー再生	57
早見／ゆっくり再生	56
早戻し／早送り	56
まるごと録画番組を見る	35
自己診断機能	65
字幕放送	92
再生中の切り換え	58
録画	78
初期化	77
すべての初期化	77
設定項目の初期化	77
接続	17
HDMIケーブル	13
USB-HDD	61
アンテナ線	13
オーディオ機器	18
電源プラグ	19
ソフトウェア	89
ソフトウェア情報と更新	68
デジタル放送電波で更新	68
バージョンを確認	68

た

待機モード設定	74
チャプター	79
チャプターとは	92
チューナー	92
デジタルハイビジョン	92
テレビ画面保護	74
同軸ケーブル	13

は

ハードディスク	79
ハイビジョン画質	
HD(エイチディー)放送	92
番組	79
消去	54
番組とチャプターについて	79
保護	55
まるごと録画一覧	36
ビットストリーム	92
ビットレート	92
標準画質、SD(エスディー)放送	92
付属品	16
プログレッシブ	92
分波器	17
放送受信設定	75
保存する	42
一発保存	42
お好みの周期で保存	42
おすすめ再生から番組保存する	54
保存予約	44
ホームメニュー	30
本機	12
項目と設定内容	74
設定のしかた	73
前面	12
背面	13
本体設定	73
ま	
まるごと録画	31
一発保存	42
お好みの周期で保存	42
設定を初期化する	34
設定を変更する	32
保存予約	44
まるごと録画機能を有効／無効にする	32
マルチ番組	93
無操作電源オフ	74
メッセージ	80
メディア	93
文字入力	69
ら	
リモコン	11
乾電池の入れかた	16
テレビ操作	26
ボタン名とはたらき	14
冷却用ファン	13
レジューム機能	36



船井電機株式会社